

ウェブクライアント ユーザーガイド



コピーライト

©2006–2013 Celartem, Inc., doing business as Extensis. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複製・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensis の書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

Extensis は Extensis の商標です。Extensis のロゴ、Font Sense、Font Vault、NetMediaMAX、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Suitcase Fusion、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type Core は Extensis の商標です。NetPublish、Portfolio NetPublish、Type Server、Universal Type Server、WebINK は Extensis の登録商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartem のロゴは、Celartem, Inc. の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、InCopy、InDesign、Photoshop、PostScript、XMP は Adobe Systems, Incorporated の商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、Bonjour ロゴ、iBooks、Mac OS、OS X、QuickTime、QuickTime ロゴ、Universal ロゴ、Xsan は、Apple Inc. の登録商標です。IOS は、米国およびその他の国における登録商標または Cisco の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Microsoft、Internet Explorer、PowerPoint、SQL Server、Visual Basic、Windows、Windows Vista は Microsoft Corporation の登録商標です。Intel、Intel Core、Pentium、Xeon は Intel の登録商標です。Oracle、Java は Oracle と関連会社の登録商標です。Google は Google Inc の商標です。Apache Tika、Apache Tomcat、Tomcat は Apache Software Foundation の商標です。Quark、QuarkXPress、XTensions、QuarkXTensions は、Quark Inc. の商標です。IBM、DataMirror は International Business Machines Corporation の商標です。その他全ての商標は各社が所有しています。Panasonic は Panasonic 株式会社の登録商標です。All other trademarks are the property of their respective owners.

MediaRich CORE Content On-demand Repurposing Engine © Copyright 2004–2013 Automated Media Processing Solutions, Inc. dba Equilibrium. All rights reserved. MediaRich CORE は自動コンテンツ処理、自動コンテンツ配信管理、コンテンツダイナミックビジュアルライゼーション、帯域幅やデバイスによるビジュアルメディアの最適化、デジタルメディアアセットのダイナミックオンデマンド生成について、米国特許番号 6,792,57、6,964,009、8381110 を取得しています。他の特許は申請中です。

MediaRich と Equilibrium は Automated Media Processing Solutions, Inc. の登録商標です。MediaScript と AMPS は Automated Media Processing Solutions, Inc. の商標です。

Extensis は、製品の購入日より 30 日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品を Extensis から直接購入し、30 日以内に障害が発生した場合、ディスクを Extensis に返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前に Extensis で登録する必要があります。販売店から購入した Extensis 製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



Portfolio Desktop Client 11.0.0

目次

コピーライト	2
Extensis Portfolio ウェブクライアント	5
新機能	6
これまでのリリース	7
はじめに	8
Portfolio のインストール	8
システム要件	8
Portfolio Server への接続	9
Portfolio ウェブクライアントのインターフェイス	9
メインウィンドウの表示オプション	11
フィールド選択	13
アイテムのプレビュー	14
ファイルのカタログ化	15
カタログへアイテムをアップロード	15
カタログからアイテムを削除	15
アクセスレベル	16
ファイルを検索	18
クイック検索	18
バッチ検索	18
検索ツールの使用	19
検索条件オプション	20
検索結果のクリア	22
オーガナイザ	23
オーガナイザパネル	23
フラグアイテム	24
お気に入り	25
ギャラリー	25
フォルダ	28
オーガナイザアイコン	29
アイテムのプロパティの表示	30
表示プロパティの選択	30
フィールドタイプの理解	31
アイテムのプロパティの編集	31
キーワードとカスタムフィールド	34
キーワード	34
カスタムフィールド	34
キーワードの追加	35
キーワードの削除	36

キーワードの置換.....	36
ファイルの管理.....	37
新しいサブフォルダの作成.....	37
ファイルの移動と削除.....	37
カスタムプレビューの適用および削除.....	38
自動化とウェブクライアント.....	38
オリジナルのダウンロードと編集.....	39
ファイルのダウンロード.....	39
変換プリセット.....	39
バッチ処理.....	41
PDF コンタクトシート.....	42
ジョブ.....	43
用語集.....	44
連絡先.....	60
索引.....	61

Extensis Portfolioウェブクライアント

Portfolio Server は、ファイルを適切なフォーマットで収集することを効率的ですばやく実行することを可能にします。文書、写真、音声、動画ファイルをまとめて管理し、重要なファイルと関連する情報にアクセスできるようになります。

Portfolio Server は Server Admin Web アプリケーション、ブラウザベースでのアクセスを可能にするウェブクライアント、Mac および Windows システム用のデスクトップクライアントと Express アプリケーションを提供します。

- Server Admin アプリケーションは、サーバーの管理、カタログやユーザーアカウントの作成、ユーザーのアクセス権の変更を行うことができます。
- Portfolio ウェブクライアントとデスクトップクライアントは、カタログにアイテムを追加、メタデータの適用、アセットの検索、ダウンロードなどができます。Portfolio Express アプリケーションは、アプリケーション間をドラッグ&ドロップでアセットにアクセスすることを可能にします。

各アプリケーションには検索可能なオンラインヘルプが用意されていますブラウザベースの Server Admin Web とウェブクライアントアプリケーションは、ブラウザ右上のヘルプ からアクセスできます。デスクトップアプリケーションの場合、ヘルプ メニューからアクセスします。ヘルプ画面では、左側のパネルを利用して、内容や目次や、単語を検索することが可能です。多くのページは関連ページへのリンクが含まれています。

Portfolio ウェブクライアント

ウェブクライアントは、アセットの追加、メタデータの編集、検索、ファイルのダウンロードなど、広範囲に渡る強力な機能を提供します。

よく使われるウェブクライアントの一般的な機能は:

- ファイルのアップロード
- アイテムのプロパティの編集: キーワードやメタデータを追加します。
- ギャラリーおよびスマートギャラリーを使用した管理
- ファイルおよびフォルダの管理: ファイルおよびフォルダの追加、移動、名前の変更をします。
- ファイルを検索
- ファイルのダウンロード
- バッチ処理 (ファイルの変換)
- アイテムのプレビュー
- ギャラリー および PDF コンタクトシートを使用したアセットの共有

新機能

ウェブクライアントは、Portfolio Server のカタログにウェブベースで接続することができます。これにより、ユーザーは特殊なアセット管理ソフトウェアをインストールしなくても、利用することができます。Portfolio ウェブクライアントを使えば、一般的な Portfolio 機能にアクセスしたり、日常的なメディア処理を自動化することができます：

- すぐれた検索およびダウンロード機能
- オートシンクフォルダへのファイルのアップロード
- ディスク内のファイルの管理
- ファイルのバッチ変換
- メタデータの入力および埋め込み

ウェブクライアントの当バージョンには以下の新機能が含まれています：

- **お気に入りオーガナイザ**：特定のオーガナイザをお気に入りにすることができます。すばやく利用できるよう、**オーガナイザ**パネルの一番上に表示させることができます。
- **オーガナイザパネルの改善**：お気に入りパネルに、**お気に入りオーガナイザ**を含む、より多くのギャラリーやフォルダが表示できるようになりました。詳細は、**オーガナイザ**（23 ページの）を参照してください。
- **PostScript ファイルフォーマットの取り扱い向上**：PDF、EPS、Adobe Illustrator ファイルのカタログ登録と変換が向上しました。
- **メタデータ**：IPTC Photo Metadata (Iptc4xmpExt) 標準と PLUS (Picture Licensing Universal System) XMP ネームスペースのメタデータをサポートしました。
- **新規ファイルフォーマット**：Panasonic P2 MXF ビデオと新 Camera Raw フォーマットをサポートしました。
対応ファイルとカメラの詳細は、「Supported File Formats and Camera Models」PDF をダウンロードして参照してください。PDF は Extensis ウェブサイト (<http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/>) からダウンロードできます。
- **フィルターフィールドと検索、ソートの同期**：ソートと詳細検索でもフィールドメニューが利用できます。並べ替えや検索ツールでフィールドメニューが利用でき、すべてのフィールドを表示するのか、プロパティパネルに表示しているフィールドのみを表示するのかを選択できます。フィールドメニューの一番下で切り替えることができます（フィルタ済みのフィールドが表示されている場合は、「すべてのフィールドを表示する」メニューが表示されます）。
- **ログインページのカスタマイズ**：システム管理者は、ウェブクライアントのログインページのカラースキームの変更、他のウェブサイトのリンクを埋め込めるグラフィックの追加が行えます。
- **パフォーマンスの向上**：ウェブクライアントは利用しているカタログのアップデートをインテリジェントに実施し、多くのカタログにアクセスしているユーザーのパフォーマンス向上を実現しました。

Portfolio Server の新機能については、サーバー管理ヘルプシステム、またはユーザーガイドを参照してください。

これまでのリリース

Portfolio ウェブクライアントの最近のリリースでは以下の機能が追加されています。

- **フィールドの選択およびフィールドフィルタ**：グリッド表示、リスト表示、プレビューモードのプロパティ表示、メインウィンドウのプロパティパネルなどで表示されるフィールドを選択し、表示する順序を変更できます。
- **ユーザーメニュー**：現在のユーザーの名前がメニューに表示され、このメニューからログアウトやデフォルト表示への復帰が可能です。
- **ダウンロードとバッチ処理**：これらの機能は、意味があって分けられています。変換プリセットは**ダウンロードメニュー**に移動されました。バッチ処理ボタンは、アセットを変換、ダウンロード、カタログに登録するためのプリセットやカスタム設定を使用することができます。
- **クリック可能な URL**：グリッド表示で表示される URL フィールドをクリックすると、ウェブサイトを開くことができます。
- **ビデオとオーディオ**：Portfolio Server はウェブクライアント上での動画と音声のサポートを強化しました。プレビュークリップの再生、スライドショーに音声と動画の追加、動画および音声ファイルをディスクにダウンロードすることができます。NetMediaMAX ユーザーは動画と音声ファイルを複数のフォーマットに変換できます。
- **バッチ検索**：複数のファイル名などのリストを使用して、アイテムを検索することができます。
- **PDF コンタクトシート**：ページに画像が 1, 2, 4, 9, 16 点配置された PDF コンタクトシートを作成できます。
- **表示状況の保存**：グリッドおよびリスト表示の設定は、カタログの変更や、ウェブクライアントを終了しても保存されます。
- **オートシンクの進化**：オートシンクの処理速度が上がり、ギャラリー、フォルダ、カタログのアイコンは現在のオートシンク状況を表します。

詳しいリリースノート、システム要件、ドキュメントダウンロードはこちらドキュメントダウンロード (<http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html>)です。

はじめに

Portfolio ウェブクライアントは、デジタルファイルに関する情報を、扱いやすい視覚的なカタログに保存することによってファイルを整理するのに役立ちます。ファイルを探すのに深い階層のフォルダを探したり、必要な画像を見つけるために文書を次から次へと開いたりする代わりに、サムネールの大きさのプレビューをすばやく参照したり、Portfolio ウェブクライアントの強力な検索エンジンを使用して必要なアイテムの検索を実行したりできます。

カタログ:Portfolio でファイルの検索、プレビュー、およびトラッキングするには、カタログにファイルをアップロードする必要があります。

- **カタログへのアイテムのアップロード**

カスタマイズ: ギャラリーおよび表示オプションで設定した方法でカタログのアイテムを表示します。

- **メインウィンドウの表示オプション**
- **ギャラリーの作成、リネーム、削除**

アクセス: Portfolio Server のファイルをプレビュー、ダウンロード、および変換します

- **アイテムのプレビュー**
- **ファイルのダウンロード**
- **バッチ処理**

整理: Portfolio ウェブクライアントを使用して、キーワード、説明、その他のカスタムデータを追加することにより、ファイルをグループ化、整理、およびカテゴリ分けすることができます。

- **アイテムのプロパティの編集**
- **キーワードとカスタムフィールド**

検索: 検索するカタログファイル名の単語またはフレーズを入力すると、直ちにアクセスできます。入力した複数の検索条件は Portfolio に自動的に保存されます

- **ファイルを検索**
- **クイック検索**
- **バッチ検索**
- **検索ツールの使用**

Portfolioのインストール

Portfolio ウェブクライアントは、Adobe Flash 10 がインストールされている対応ウェブブラウザで接続をおこなうため、使用するために別途ソフトウェアをインストールする必要はありません。

Adobe の Flash Player のインストールについては、次のアドレスを参照してください。 <http://www.adobe.com/go/getflashplayer/>

また、Portfolio の管理者は Portfolio Server 上のカタログに適切なアクセス権を設定する必要があります。カタログのメンバーに登録されると、そのカタログに Portfolio ウェブクライアントからアクセスできるようになります。

システム要件

最新 Portfolio Server の情報については、ドキュメントダウンロード

(<http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html>)Extensis のウェブサイトを参照してください：

Portfolio Serverへの接続

Portfolio Server に接続するには、Portfolio Server の管理者からアクセス情報を入手する必要があります。次のような情報です。

- Portfolio Server の IP アドレスまたはサーバー名
- Portfolio Server のポート番号
- ユーザー名
- パスワード

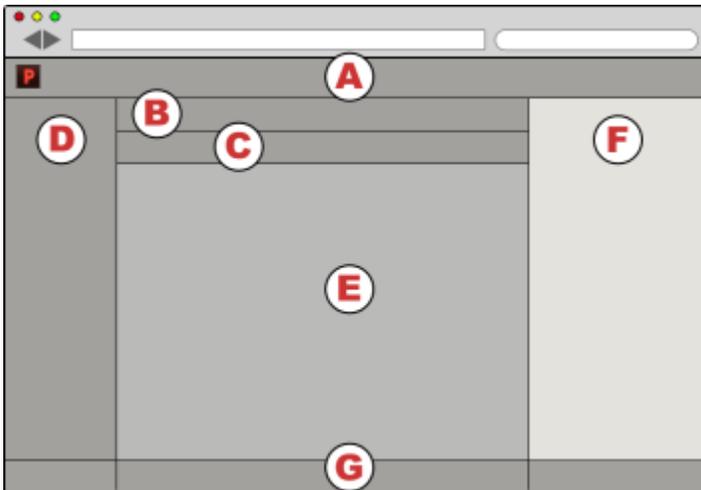
Portfolio Server に接続するには、次の手順を行います。

1. サポートされているウェブブラウザを開きます。
2. アドレスフィールドに IP アドレスとサーバー名を入力し、コロンの次にポート番号を入力します。
Portfolio Server に接続するときのデフォルトポートは 8090 です。
たとえば、次のように入力します。
`http://192.168.0.1:8090`
`http://localhost:8090`
`http://servername:8090`
3. ドロップダウンメニューから、使用する言語を選択します。
4. ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

注意

ログインするにはアカウント名とパスワードを入力する必要があります。これらはユーザーが接続する前に Portfolio Server の管理者から支給されているはずです。

Portfolioウェブクライアントのインターフェイス



ウェブクライアントのユーザーインターフェイスは以下の主要なエリアからなります：

A	メインツールバー	E	メインウィンドウ
B	表示、ソート、検索オプション	F	プロパティパネル
C	アイテムプロキシとフィールド選択	G	ナビゲーションツールバー
D	オーガナイザパネル		

A. メインツールバー

メインツールバーは Portfolio ウェブクライアントインターフェイスの上部に表示されます。このツールバーにはカタログでよく使用する、ファイルのアップロードやダウンロード、ファイル変換などの機能があります。

B. 表示、ソート、および検索

Portfolio ウェブクライアントのメインウィンドウは、 小サムネールグリッド、 大サムネールグリッド、 リスト、 プレビューの 4 つのモードでアイテムを表示できます。ご使用の用途に応じて、使い分けてください。

グリッドおよびリスト表示では、各データフィールドを昇順および降順で表示できます。

クイック検索は一般的なデータフィールドを検索できます。複数条件で検索をしたい場合は詳細検索に切り替えます。

参照：メインウィンドウの表示オプション（ページ 11）、クイック検索（ページ 18）、検索ツールを使う（ページ 19）

C. アイテムプロキシとフィールド選択

アイテムプロキシは、全ページの全アイテム 、現在のページの全アイテム 、または現在のページの選択アイテム  など、表示アイテムのプリセットをコピーしたり移動したりできます。複数のアイテムを選択したり、ページを変更しなくても、代わりにプロキシをドラッグすることで対応できます。

フィールド選択フィールド選択は、グリッド表示、リスト表示、プレビューモード、プロパティパネルで表示するデータフィールドを選択できます。

参照：アイテムプロキシを使う（ページ 12）、フィールド選択（ページ 13）

D. オーガナイザパネル

ウィンドウ左側のオーガナイザパネルには使用可能なすべてのカタログが表示されます。カタログ内のギャラリーやフォルダを表示できます。

カタログを選択するには、パネルの上にあるポップアップメニューをクリックします。

ギャラリーやフォルダをクリックして、メインウィンドウにあるアイテムを表示します。

別のギャラリーやフォルダ間にあるセパレータを上下にドラッグして、表示数を増減できます。

よく使うオーガナイザをお気に入りリストにドラッグするとアクセスが簡単になります。

参照：オーガナイザ（ページ 23）、お気に入り（ページ 25）

E. メインウィンドウ

メインウィンドウにはカタログのアイテムサムネールとデータが表示されます。オーガナイザパネルでカタログ、ギャラリー、またはフォルダを選択すると、メインウィンドウに選択したこれらに属するアイテムが表示されます。

上部のメインツールバーと下部のナビゲーションツールバーを使用すると、メインウィンドウにアイテムをどのように表示するかを調整できます。例えば、次のものを制御できます：

- 1 ページに表示されるアイテムの数
- ページ内のアイテムの並べ替え基準
- アイテムをグリッド表示またはリスト表示のどちらで表示するか
- グリッド表示内のサムネール画像のサイズ

メインウィンドウにはクイック検索とカタログのその他の検索の結果もすべて表示されます。

参照：メインウィンドウの表示オプション（ページ 11）

F. プロパティパネル

プロパティパネルには、システムファイルとメインウィンドウで選択したアイテムのメタデータ情報が表示されます。表示される多くのフィールドのほとんどは直接編集できます。

1つのアイテムを選択すると、そのアイテムのすべてのカタログ情報がプロパティパネルに表示されます。編集したメタデータはすべて、選択したアイテムだけに適用されます。

複数のアイテムを選択すると、プロパティパネルには選択したすべてのアイテムに共通のフィールドだけが表示されます。編集したメタデータは、選択したアイテムすべてに適用されます。

プロパティパネルは、ツールバーの右側の二重矢印アイコン  を使って隠すことができます。

参照：アイテムプロパティとメタデータ（ページ 30）

G. ナビゲーションツールバー

ウィンドウ下にあるナビゲーションツールバーは、メインウィンドウ上に表示されるアイテムの数、表示サムネールのサイズ、ギャラリーに追加や削除などの変更ができます。

参照：メインウィンドウの表示オプション（ページ 11）

ショートカットメニュー

メインウィンドウあるいはオーガナイザパネルでアイテムを選択した場合、よく使う機能にショートカットでアクセスできます。選択アイテムを右クリックすると、実行可能な機能のリストが表示されます。

メインウィンドウの表示オプション

グリッド表示

グリッド表示では各アイテムのサムネールが表示されます。サムネールは 112x112 ピクセル、256x256 ピクセルを使用します。サイズを変更するにはナビゲーションバーのアイコン  をクリックします。

各サムネールと表示される情報を変更するには、メインウィンドウ右上のフィールドを表示をクリックしてください。

グリッド表示で URL フィールドを表示する場合は、ハイパーリンクになり、クリックすると新規ブラウザウィンドウが開きます。

リスト表示

リスト表示は、スクロール可能なファイルのリストでサムネール、フラグステータス、ファイルパス、名前、変更日を含んでいます。

各アイテムと表示される情報を変更するには、メインウィンドウ右上のフィールドを表示をクリックしてください。

プレビューモード

プレビューモードは、グリッドまたはリストで選択したアイテムを拡大してプレビュー表示します。また、ズームイン、ズームアウト、ファイルのダウンロード、ファイルのメタデータ表示、選択対象の他のファイルをプレビュー、選択対象のスライドショーなどができます。

プレビューモードで表示するには、プレビューモードアイコンをクリックまたは、グリッドまたはリスト表示でアイテムをダブルクリックします。

複数のアイテムを選択してからいずれかをダブルクリックすると、プレビューモードは、選択したアイテムのサムネールをウィンドウの下に表示します。このギャラリー内のアイテムをクリックするとプレビューが表示されます。

表示フィールド

グリッド表示、リスト表示、プレビューモードで表示されるプロパティ、プロパティパネル内の各アイテムで表示したいプロパティを選択できます。各表示モードあるいはパネルでは、異なるフィールドを表示することができます。

フィールド選択画面を開くには、メインウィンドウの上にあるフィールドを表示ボタンをクリックします。

フィールド選択の詳細情報については、フィールド選択（13 ページの）を参照してください。

更新

現在の表示を（新しいアイテムを追加または削除後に）更新するには、メインウィンドウの上にある更新ボタンを押します。

アイテムの選択

グリッドとリスト表示では、アイテムをクリックして選択します。連続した一連のアイテムを選択するには最初の画像をクリックしてから、**SHIFT** キーを押しながら最後のアイテムをクリックします。**COMMAND** キー（Mac）または **CTRL** キー（Windows）を押しながらクリックすると、アイテムを個別に選択できます。

アイテムプロキシの使用

アイテムプロキシを利用すると、メインウィンドウのアイテムのサブセットをフォルダやギャラリーにコピーできます。

- 検出アイテムプロキシ  をドラッグするとメインウィンドウの全ページのアイテムをコピーします。
- 表示アイテムプロキシ  をドラッグするとメインウィンドウの現在のページのアイテムをコピーします。
- 選択アイテムプロキシ  をドラッグすると現在のページの選択アイテムをコピーします。

プロキシをドラッグする際に、マウスポインタがコンテナ上に乗ると、アイテムをコピーできることを示す緑色の点が左端に表示されます。赤い×が表示される場合は、そこにはコピーできないという意味です。

プロキシのグラフィックに表示される数字は、アイテム数を表しています。

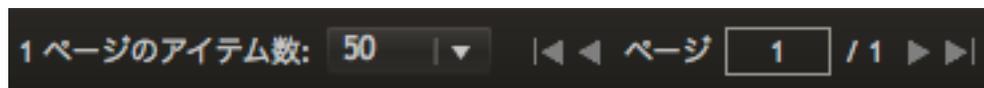
プレビュー

プレビューは必要に応じて自動的に生成されます。各カタログごとのプレビューの画像サイズの最大値は、Portfolio Server Admin Web インターフェイス内で設定できます。

ファイルの種類によっては、サムネールやプレビュー画像をサポートしていません。この場合、代わりにファイルのアイコンが表示されます。

ナビゲーションボタン

メインウィンドウの下部にあるナビゲーションボタンによって、メインウィンドウのページに表示されるアイテムの数と次ページへの移動を制御できます。



アイテム数ドロップダウンメニューでメインウィンドウの各ページに表示されるアイテムの数 1 ページあたりを 20、50、または 100 個の間で変更できます。

メインウィンドウ内で、最初のページ、1 ページ戻る、1 ページ進む、最後のページ、または特定のページを入力することで、ページ間を移動できます。

フィールド選択

カタログに含まれる、どのフィールドを **グリッド表示**, **リスト表示**, **プレビュー モード** で表示される **プロパティ**, そして **プロパティ パネル** においてアイテムと表示するかを選択できます。

グリッド表示とリスト表示:

クイック検索 ツール 下の **フィールドを表示** をクリックして **フィールドセクタ** を開きます。

プレビューモード:

 アイコンをクリックして **プロパティ** を表示し, **フィールドを表示** を押して **フィールドセクタ** を開きます。

プロパティパネル:

プロパティ パネル の **ドロップダウンメニュー** から **フィルタフィールドを編集** を選択します。

注意: フィルタフィールドのリストは **並べ替え基準** メニューのデフォルトのフィールドリストとしても使用されます。

フィールドの選択

フィールド選択 は、左側にすべてのフィールドを、右側に現在のフィールドを表示します。

- 現在の表示にフィールドを追加するには、左側のリストから右側のリストに移動します。
- フィールドの表示される順番を変更するには、右側のリストでフィールドを上下に移動します。
- 現在の表示からフィールドを削除するには、右側のリストの外にドラックします。
- 左側リストに表示される対象を制限するには、**ダイアログ** 上にある **検索** ボックスにフィールド名の一部を入力します。

OK ボタンをクリックして変更を保存します。

異なる表示の設定オプション

フィールド選択 の右上には表示フィールドの **ドロップダウンメニュー** が表示されます。

このメニューから異なる表示を選択し、その表示画面で使用するフィールドを選択できます。

ダイアログ で **保存** を押すと、表示されるフィールドが保存されます。

アイテムのプレビュー

Portfolio ウェブクライアントはメインウィンドウにフルサイズのプレビューをグリッドまたはリスト表示から表示できます。プレビューモードで表示するには次の操作を行います:

- アイテムをダブルクリックします。
- 複数アイテムを選択し、ダブルクリックします。
- アイテムを選択し、プレビューモードアイコンをクリックします。 

フォルダまたはギャラリー内のすべてのアイテムをプレビューするには、オーガナイザで選択し、プレビューモードアイコンをクリックします。

プレビューモードの操作

プレビューモードに入ると、メインウィンドウには大きなプレビューが表示されます。マウスを移動すると、プレビューコントロールが表示されます。これらはマウスの移動を停止すると隠れます。これらの機能はショートカットからアクセスすることもできます。



A	閉じる	プレビューモードを終了し、前の表示に戻ります。 ショートカット: ESC	F	拡大縮小	プレビューの拡大縮小。拡大した場合、ドラッグしてパンをすることができます。 ショートカット: + (拡大)、- (縮小)、 O (全体表示)
B	ファイル名	ファイルの名称です。	G	プレビュー	画像または動画メディアのプレビューができます。
C	フラグ	フラグをつけた画像はフラグアイテムのギャラリーに追加されます。 ショートカット: B	H	プロパティ	プロパティを表示します。フィールドを表示ボタンを押して、表示するフィールドを選択します。
D	ダウンロード	オリジナルファイルをダウンロードします。	I	フィルムストリップ	プレビューモードで利用できるサムネール画像を表示します。画像をクリックプレビューします。(フィルムストリップは、アイテムが複数選択された状態で、プレビューモードになった場合に表示されます。)
E	プロパティの表示/隠す	プロパティの表示や隠すことができます。	J	ナビゲータ	サムネール間の移動またはスライドショーを開始/停止します。 ショートカット: HOME (最初の画像へ)、 左矢印 (前へ)、 スペース (スライドショーの再生/停止)、 右矢印 (後へ)、 END (最後の画像へ)

ファイルのカタログ化

カタログにアイテムを追加する方法はいくつかあります。

- Portfolio ウェブクライアントでは、アイテムはクライアントのブラウザから直接ファイルサーバー上のフォルダにアップロードされます。このフォルダは、カタログ管理者が Portfolio デスクトップクライアントを使用してオートシンクフォルダとして追加している必要があります。
- ファイルはネットワーク上のコンピュータの監視フォルダに追加できます。監視フォルダは Portfolio デスクトップクライアントで追加できます。(Portfolio Server は、監視フォルダにアクセス可能である必要があります)
- Portfolio デスクトップクライアントを使用してファイルをカタログ化できます。

カタログへアイテムをアップロード

ウェブクライアントを使って Portfolio Server にファイルをアップロードするには権限が必要です。ウェブクライアントでアイテムをアップロードすると、ファイルは選択したフォルダにアップロードされ Portfolio Server によってカタログ化されます。

Portfolio ウェブクライアントでアイテムをアップロードするには、次の手順で行います:

1. ファイルをアップロードするフォルダを選択します。
2. ツールバーで **アップロード** をクリックします。
3. アップロードするファイルを選択します。
4. **選択** (Mac) または **開く** (Windows) ボタンを使用して、ファイルをアップロードします。
ファイルのアップロード状態はメインウィンドウの下部にある **ナビゲーション** ツールバーに表示されます。ファイルのアップロード状態についての詳細については **ジョブを表示** 43 ページのをご覧ください。

注意

オーディオ、ビデオファイルをアップロードすると、Portfolio Server はプレビュークリップを作成します。プレビューが表示されるまで少し時間がかかる場合があります。クリップの再生準備が完了すると、ファイルアイコンに小さいビデオカメラのアイコン  が表示されます。ファイルをダブルクリックすると、プレビューモードに切り替わり、クリップのプレビューが再生されます。

カタログからアイテムを削除

カタログ内のアイテムを削除する方法は 3 つあります。これらの方法の違いを知っておくことが重要です。たとえば、次のような場合です。

- ディスクからのオリジナルファイルの削除
- カタログからのアイテムの削除
- ギャラリーからのアイテムの削除

これらのオプションの主な違いは、カタログ、ギャラリー、フォルダという、アイテム選択のソースの違いです。



メインウィンドウの左下に **削除** ボタンがあり、メインウィンドウでアイテムが選択されたときだけ表示されます。

ショートカットを使用した削除

削除 ボタンを使用する以外にも、選択アイテム、ギャラリー、カタログ、フォルダを右クリックして、**選択対象を削除** (アイテム) または **内容を削除** (カタログ、ギャラリー、フォルダ) を選択して削除できます。**内容を削除** は、内容のみを削除し、カタログ、ギャラリー、フォルダは維持します。

ディスクからのオリジナルファイルの削除

ディスクからオリジナルファイルを削除すると、ファイルを削除するだけでなくそのファイルへのすべてのカタログ参照も削除されます。このオプションを使用する場合、ファイルを間違えて削除しないよう注意が必要です

ディスクからオリジナルファイルを削除するには:

1. ファイルまたはファイルが含まれるフォルダを選択します。
2. メインウィンドウで、ディスクからオリジナルを削除したいファイルを選択します。
3. メインウィンドウの左下の削除 ボタン  をクリックします。
4. ディスクから削除をクリックします。

カタログからのアイテムの削除

カタログからアイテムを削除してもファイルはカタログからだけ削除され、オリジナルファイルには影響しません。

注意

カタログからアイテムを削除しても、そのファイルがオートシンクフォルダ内にある場合、Portfolio Server に再登録されてしまいます。これを避けるには、監視フォルダの外にファイルを移動してから、ファイルをカタログから削除されます。

カタログからアイテムを削除するには:

1. ファイルが含まれるフォルダまたはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウでカタログから削除するファイルを選択します。
3. メインウィンドウの左下の削除 ボタン  をクリックします。
4. カタログから削除をクリックします。

ギャラリーからのアイテムの削除

ギャラリーからアイテムを削除してもカタログからそのアイテムは削除されません。オリジナルのファイルには影響はありません。

ギャラリーからアイテムを削除するには:

1. ファイルが含まれるギャラリーまたはファイルを選択します。
2. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを選択します。
3. メインウィンドウの左下の削除 ボタン  をクリックします。
4. ギャラリーから削除をクリックします。

アクセスレベル

Portfolio Server の管理者がカタログごとに設定できる組み込みのアクセスレベルは以下の 4 つです。アクセスレベルによってユーザーが対象のカタログで使用できる機能が決まります。

たとえば、ユーザーがあるカタログに発行者アクセスレベルの権限があり、他のカタログには閲覧者アクセスレベルの権限があるということがあります。

各ユーザーのアクセスレベルについては管理者に確認してください。

注意: ユーザーがあるカタログのメンバである場合、そのユーザーはウェブクライアントまたはデスクトップクライアントを使用してそのカタログにアクセスできます。

カタログ管理者: これは最上位レベルのユーザーアクセス権であり、このレベルでは利用可能なすべての機能にアクセスできます。カタログ管理者は、Portfolio デスクトップクライアントと同じように、カスタムフィールドの編集、メタデータマッピング、オートシンクのフォルダ設定などの高度な機能にアクセスできます。

カタログ管理者のアクセスレベルは Portfolio Server Admin の権限とは異なります。

発行者: 発行者の権限がある場合、カタログにアイテムをアップロードしたり、そこから削除したり、また、カタログ内のすべてのメタデータを更新したりできます。発行者はまたギャラリーを作成できます。

編集者: 編集者アクセスレベルのユーザーは、キーワードやカスタムフィールド値を入力するなどのメタデータの編集作業を行うことができます。編集者は、ファイルに組み込むためにマッピングされているフィールドにメタデータを入力することはできません。

閲覧者: 閲覧者レベルのアクセス権がある場合、カタログのアイテムを閲覧のみできます。カタログのアイテムにメタデータを追加、削除、編集することはできません。

Portfolio Server Admin はユーザーに Portfolio ウェブクライアントの他の機能へのアクセス権を与えることができます。この権限には次のものがあります。

- **オリジナルへのアクセスおよび処理:** オリジナルファイルのダウンロードが可能になります。この権限と**変換プリセットの使用**が利用できれば、**バッチ処理** 機能を使用することもできます。.
- **メタデータの埋め込み:** ファイルに埋め込みできるメタデータの編集を可能にします。埋め込みメタデータは  アイコンで表されます。
- **PDF 作成:** この機能を有効にすると、PDF のコンタクトシートを作成できます。
- **変換プリセットを管理:** この機能を有効にすると**バッチ処理**ダイアログにて、**変換プリセットの編集**およびカスタム設定をプリセットとして保存することができます。
- **パブリックギャラリーの管理:** この機能を有効にすると、パブリックギャラリーの作成、変換、削除ができます。
- **Media Script の実行:** この機能が有効化されたサーバーでスクリプトを実行することを許可します。
この機能を利用するには NetMediaMAX モジュールが必要です。
- **変換プリセットの使用:** 他のユーザーが作成したカスタム変換プリセットを利用できるようにします。この権限と**オリジナルへのアクセスおよび処理**が利用できれば、**バッチ処理** 機能を使用できます。

ファイルを検索

Portfolio ウェブクライアントでファイルを検索する方法はいくつかあります。

クイック検索 を使用して、ファイルのカatalogをすばやく検索できます。

通常の**検索**機能は、カスタマイズすることにより Portfolio Server で管理されているデータタイプを使用して最大5項目を検索することができます。検索条件を調整し、更新結果を表示することもできます。

バッチ検索 ひとつのフィールド内に値を複数入れて検索ができます。ファイル名や品番などユニーク番号を持った複数アイテムを検索することができます。

クイック検索

Portfolio ウェブクライアントで最も簡単に使用できる検索ツールはクイック検索です。クイック検索はメインウィンドウの上部のツールバーにあり、デフォルトでは3つのフィールド「ファイル名」、「説明」、「キーワード」を検索します。



クイック検索は、選択した**オーガナイザ**パネル内のアイテムのみ検索します。ギャラリーを選択すると、そのギャラリー内のアイテムだけが検索されます。

クイック検索を行うには：

1. オーガナイザパネルで、オーガナイザを選択します。
2. クイック検索フィールドに単語またはフレーズを入力して、**ENTER** キーを押します。
3. メインウィンドウに一致したアイテムが表示されます。

メインウィンドウのクイック検索の結果をクリアするには、クイック検索フィールドの右にある**結果をクリア**ボタン  をクリックします。

バッチ検索

バッチ検索複数値を利用して適合するフィールドを持つ Portfolio アセットを検出します。

例：

部品番号のカスタムフィールドを持つ Portfolio カタログから、複数の異なる部品番号に関連するアセットを検索する必要がある場合。**バッチ検索**を使って、部品番号のリストを入力して部品番号フィールドを検索することができます。まとめて検索することですばやく検索結果を得られます。

バッチ検索は、テキストと数字フィールドで利用できます（キーワードなど複数の値を持つフィールドも含まれます）。

バッチ検索を使う

バッチ検索の使い方：

1. クイック検索フィールドの左の三角をクリックして、**詳細検索**ウィンドウを開きます。
2. **バッチ検索**タブをクリックします。
3. 検索したいフィールドをドロップダウンメニューから選択します。
4. ドロップダウンメニュー横にあるフィールドに、検索条件を一行ずつ入力します。
TIP：このフィールドに、検索条件を一行ずつペーストすることもできます。
5. **検索**をクリックします。

ウェブクライアントは検索条件にあったアイテムを表示します。アイテムが見つからない場合は、エラーとしてレポートされます。

リスト内の1項目に、複数のアイテムが該当する場合があります。例えば上記の例では、Portfolio カタログに同じ部品の異なる写真が複数登録されている場合には、番号に関連したすべての写真が表示されます。

検索後の処理

検索した後はどうればよいでしょうか。検索結果をグループ化したい場合は、既存のギャラリーまたは新しいギャラリーに追加します（フラグアイテムギャラリーに追加することもできます）。

検索結果をギャラリーに追加することで、間違っして検索結果を削除してしまうことを回避でき、またカタログ内の別のアイテムを検索することができます。

ギャラリー作成の詳細は、[新しいギャラリーの作成](#)（26 ページの）を参照してください。

フラグアイテムギャラリーの詳細は、[フラグアイテムギャラリー](#)（24 ページの）を参照してください。

検出アイテムをギャラリーに追加するには、検出アイテムプロキシのアイコン  を任意のギャラリーにドラッグします。

アイテムプロキシの詳細は、[アイテムプロキシの使用](#)（12 ページの）を参照してください。

またバッチ処理コマンド処理を使用して、アイテムのメタデータの編集などカタログアイテムに行う様々な作業を実行できます。

検索ツールの使用

検索を使用して、カタログの任意のフィールドのデータを対象にファイルを検索することができます。この検索ツールはクイック検索ツールよりはるかに柔軟であり、高い精度で検索できます。クイック検索ではファイルの3つの定数のパラメータについて検索を行いましたが、検索ツールでは5つまでのパラメータについて検索できます。



A	並び替えフィールド	メインウィンドウの並び替えを選択します。	H	検索項目	値を検索する方法。
B	並び順	クリックして並び順を上下逆にします。	I	検索項目	検索フィールドとマッチする値を入力します。
C	表示/隠す	検索のオプションを表示または非表示します。	J	条件の削除	検索条件を削除します。
D	クイック検索フィールド		K	条件の追加	検索条件を追加します。
E	検索タブ	検索オプションを表示します。	L	ブール値	どのように検索するかを設定します： and は両方マッチする必要がある、 or はいずれかの項目がマッチする必要があります。
F	バッチ検索タブ	バッチ検索オプションを表示します。	M	スマートギャラリーとして保存	指定された条件でスマートギャラリーを作成します。
G	検索フィールド	検索するフィールドを選択します。	N	検索ボタン	指定された条件で検索します。

検索ツールの結果はスマートギャラリーの検索条件にすぐに変換できます。スマートギャラリーについては、**ギャラリー**（25 ページの）を参照してください。

検索ツールは、**オーガナイザ**パネルで選択したアイテムだけが検索されます。

検索ツールを使ってアイテムを検索するには：

1. **オーガナイザ**パネルで、**オーガナイザ**を選択します。
2. **クイック検索**フィールドの左隅にある、**検索**  をクリックします。
3. ドロップダウンメニューから、検索するフィールドを選択します。
4. 2つ目のドロップダウンメニューから、検索に使用する演算子を選択します。
5. テキストボックスに検索する語を入力します。
選択したフィールドタイプと検索演算子によっては検索する語が必要ないこともあります。例えば、存在する検索演算子を使用して検索する場合は、選択したフィールドにデータがあるファイルだけを対象とするため、検索語は必要ありません。
6. さらに的を絞った検索パラメータが必要な場合、最初のパラメータの右の追加ボタン  をクリックして追加のパラメータを開きます。上記の手順を繰り返して、最大5つの検索パラメータを追加できます。
7. 検索の準備ができたなら、**検索**ボタンをクリックするか、または **ENTER** キーを押します。

これらのパラメータを頻繁に使用してカタログを検索する場合、**スマートギャラリー**として**保存**をクリックして、検索条件を保存します。スマートギャラリーを開くたびに、自動的にこれらの検索パラメータを使用してファイルのカタログが検索されます。

検索条件オプション

次の表は、一般的なカタログに含まれている検索可能なフィールドの一覧です。もし、カスタムフィールドが追加した場合、そのフィールドを検索することも可能です。

アイテムがカタログ化された場合、ファイルに関連づけられた情報が抽出されます。Adobe アプリケーションで作成されたファイルの多くは、ファイルの作成条件について様々な情報が XMP メタデータとして含まれています。Portfolio は情報を抽出し、フィールドに入力します。

標準フィールド

これらのフィールドは多くの文書で一般的に利用されている情報が含まれています。

フィールド名	説明
ファイル名	カタログ化されたファイルの名前です。
ファイルサイズ	ファイルのサイズです。
作成日	オリジナルファイルの作成日です。日付と時間フィールドについては以下に記載される注意点をご覧ください。
変更日	カタログ化される前にオリジナルファイルが変更された日付です。日付と時間フィールドについては以下に記載される注意点をご覧ください。
説明	ファイルの説明文です。
キーワード	アイテムに適用されたキーワードです。

日付と時間フィールドについての注意点

日付と時間フィールドは、常に日付と時間が含まれます。もし、検索する日付は分かっても、時間が分からない場合、2つの条件で日付の範囲を指定できます。例えば、2012年2月14日に撮影した写真を見つけるには、検索条件に、"02/14/2012 12:00 am"の以降で、"02/15/2012 12:00 am"の以前に作成されたファイルを条件として指定して検索できます。

ファイル情報フィールド

これらのフィールドは、ファイルの位置や寸法の情報が含まれています。

フィールド名	説明
ディレクトリパス	ファイル名は含まない、アイテムへのディレクトリパスです。
ボリューム	アイテムが配置される実際のドライブまたはディスクです。
高さ	ピクセル単位で表されたアイテムの高さです。(サムネールが抽出された場合は空欄)
幅	ピクセル単位で表されたアイテムの幅です。(サムネールが抽出された場合は空欄)
水平解像度	アイテムの水平解像度 (dpi) です。
垂直解像度	アイテムの垂直解像度 (dpi) です。
ビット深度	画像ファイルで色情報を保持するために使用されるビット数です。
カラーモード	カラーモードは画像カラーの保管方法です。Portfolio は画像から直接カラーモード情報を抽出します。Portfolio が対応するカラーモードは次の種類があります: 白黒, グレースケール, RGB, CMYK, YUV, Lab, および YCCK。それ以外のカラーモードは「不明」と記載されます。
カラープロファイル	画像ファイルが作成されたデバイスまたはアプリケーションで埋め込まれたカラースペースのモデルです。例: sRGB, Adobe RGB (1998), またはキャリブレートされたモニタのプロファイル
ページ数	ドキュメントのページ数です。

カタログ情報フィールド

これらのフィールドは、アセットのカタログ化に関連した情報が含まれています。この情報をユーザーが変更することはできません。

フィールド名	説明
カタログ登録日	Portfolio がアイテムを最初に登録した日付と時間です。
カタログ登録者	Portfolio にアイテムをカタログ化した方の名前です。
設定日	アイテムを最近変更した日付および時間です。
設定者	最近アイテムを変更した方のユーザー名です。
アイテム ID	カタログアイテムの固有の ID 番号です。
サムネールのサイズ	Portfolio カタログ内のアイテムのサムネールサイズです。サイズは 32, 112, または 256 ピクセルのいずれかです。

ワークフローフィールド

これらのフィールドには、Portfolio でのワークフローを管理するための情報が含まれています。これらの情報はカスタムフィールドに追加することができる情報の例です。

フィールド名	説明
承認済み	アセットが承認された日付や時間です。上記の日付と時間についての注意点をご覧ください。
承認者	アセットを承認した方のユーザー名です。
クライアント名	アセットと関連のあるクライアントの名前です。
ジョブ名	アセットと関連のある作業またはプロジェクトの名前です。
ジョブの状況	ジョブの全体的な状況です。
ルーティング先	アセットを作業または確認する担当者のユーザー名です。
転送のメモ	アセットを送信する先への追加情報です。
ウェブサイト	ワークフローに関連したウェブサイトです。
作業が必要	アセットに対して行う必要がある作業の説明です。

その他フィールド

上記の検索フィールド以外にも、Portfolio は様々なメタデータをファイルから抽出します。IPTC および EXIF メタデータ (通常デジタル写真や他の画像ファイルに含まれています)、デジタル写真や動画の GPS 位置フィールド、ビデオやアニメーションのファイルに含まれる動画固有のメタデータ、Microsoft Office やその他互換製品で組み込まれる MS Office メタデータなどが含まれています。これらのフィールドの多くは検索可能です。フィールドの名前は EXIF, IPTC, ムービー, MS Office です。

検索結果のクリア

クイック検索や検索機能では、結果をクリアする方法が複数あります。

デフォルトでは、検索結果をクリアするとオーガナイザパネルで現在選択されているカタログ、ギャラリー、またはフォルダの利用可能なアイテムの最初のページが表示されます。

メインウィンドウからクイック検索の結果をクリアするには：

- オーガナイザパネルで、別のオーガナイザを選択します。
- クイック検索フィールドの右にある結果をクリア  をクリックします。

メインウィンドウから詳細検索の結果をクリアするには：

- オーガナイザパネルで、別のオーガナイザを選択します。
- クイック検索フィールドの左にある、検索ツールを隠すツール  をクリックします。

オーガナイザ

オーガナイザは、デジタルアセットの管理や毎日の仕事に利用できます。数種類のオーガナイザがあります：

- カタログは、Portfolio 管理者が作成したデジタルアセットの主なグループです。複数のカタログを利用できますが、同時に開けるのは1つのみです。
- フォルダは、アセットが保存されているディスク上のフォルダ、またはカタログに登録されたフォルダです。どちらか、または両方のフォルダを使って、ディスク上のアセット管理や、カタログへのアセットの追加を行えます。
- ギャラリーは、カタログ内でアセットを管理するための機能です。例えば、「犬の写真」ギャラリーや「猫」ギャラリーなどに分けて整理できます。どちらのギャラリーにも、犬と猫と一緒に写った写真が入っているかもしれません。
- あらかじめ用意されたオーガナイザは、重要なアセットグループです。カタログ全体、フラグを付けたアイテム、最新登録アイテムなどです。

オーガナイザパネル

オーガナイザパネルを使う：

- カタログの変更
- オーガナイザとお気に入りを使う
- ギャラリーを使う
- フォルダを使う

カタログの変更

Portfolio ウェブクライアントでは、1 度に 1 つのカタログを開きます。カタログを変更するには、**お気に入り**パネルの上へのポップアップメニューをクリックして、新規カタログを選択します。

メニューリストには、アクセスできるカタログのみが表示されます。もし見たいカタログが表示されない場合は、Portfolio 管理者に相談してください。

オーガナイザとお気に入りを使う

Portfolio ウェブクライアントは、3 つのオーガナイザが表示されます。

 **すべてのアイテム**オーガナイザには、カタログ内のすべてのアイテムが表示されます。これらのアイテムはどのようにすることもできます。

 **フラグアイテム**オーガナイザには、フラグを付けたアイテムが表示されます。詳細は、フラグアイテムの項目を参照してください。

 **最新登録アイテム**オーガナイザには、同じコンピュータとブラウザを使って、過去 24 時間以内にカタログに追加されたアイテムが表示されます。

お気に入りは便利なオーガナイザです。使いやすいようにオーガナイザのすぐ下に表示されます。

お気に入りとしてオーガナイザを追加するには、**お気に入り**リストへドラッグするか、右クリックしてショートカットメニューから**お気に入り**に追加を選択します。

ギャラリーやフォルダとまったく同じように、オーガナイザやお気に入り内のアイテムを操作することができます。

ギャラリーを使う

ギャラリーの追加、ギャラリーの削除、ギャラリープロパティの変更、お気に入りギャラリーの作成が行えます。

ギャラリーを追加するには、**オーガナイザ**パネルの下にある **+** ボタンをクリックして、ポップアップメニューから**新規ギャラリー**を選択します。

ギャラリーを削除するには、**ギャラリー**または**お気に入り**リストから選択して、**オーガナイザ**パネルの下にある **-** ボタンをクリックします。

ギャラリーを編集するには、クリックして選択し、右クリックしてショートカットメニューから**ギャラリー**の**編集**を選びます。

ギャラリーの作成と編集についての詳細は、**ギャラリーの作成、名前変更、削除**（26 ページの）を参照してください。

アイテムの追加の詳細は、**ギャラリーへのアイテムの追加**（26 ページの）を参照してください。

ギャラリーからアイテムを削除する詳細は、**ギャラリーからアイテムを削除**（27 ページの）を参照してください。

フォルダを使う

Portfolio ウェブクライアントには、オートシンクフォルダとサブフォルダの 2 種類のフォルダがあります。両方のフォルダとも、Portfolio Server からアクセスできるディスク上に実在します。

オートシンクフォルダは、Portfolio Server がその中のファイルをカタログに登録すると認識しているフォルダです。これはカタログ作成時に Portfolio 管理者が作成できます。または他のユーザーが Portfolio デスクトップクライアントから作成できます。

オートシンクフォルダ内にあるフォルダがサブフォルダです。一般には、オートシンクフォルダ内のすべてのフォルダは、それがウェブクライアント、デスクトップクライアント、オペレーティングシステムのどれを使って作られたフォルダであっても、ウェブクライアントからサブフォルダとしてアクセスできます（特別なパーミッションや保護が適用されているフォルダやシステムフォルダは、オートシンクフォルダのサブフォルダとしてアクセスできません）。

サブフォルダを作成するには、オートシンクフォルダを選択して、**+** ボタンをクリックし、**新規サブフォルダ**を選択します。

サブフォルダと内容を削除するには、選択してから **-** ボタンをクリックします。

Portfolio ウェブクライアントでのファイルとフォルダの管理についての詳細は、**ファイルの管理**（37 ページの）を参照してください。

フラグアイテム

フラグアイテムオーガナイザは、フラグを付けたアイテムを表示する特別なオーガナイザです（ブラウザを閉じないで、Portfolio のログイン/ログアウトをするとフラグアイテムは維持されます）。

アイテムにフラグを付けるには：

- グリッド表示でサムネールの右上にあるフラグアイコンをクリックします。
- リスト表示でフラグコラムのチェックボックスをクリックします。
- プレビューモードでフィルムストリップのサムネール上にあるフラグアイコンをクリックします。
- プレビューモードで画像上のフラグアイコンをクリックします。
- アイテムプロキシをフラグアイテムプロキシにドラッグします。

フラグアイテムオーガナイザは通常のオーガナイザと同じように使用することもできますが、ブラウザを終了すると、アイテムのフラグは解除されてしまいます。

フラグアイテムオーガナイザはカタログごとおよびユーザーごとに異なります。複数のユーザーが同じカタログにログインしてフラグを付けたとしても、フラグ設定が他のユーザーに影響することはありません。

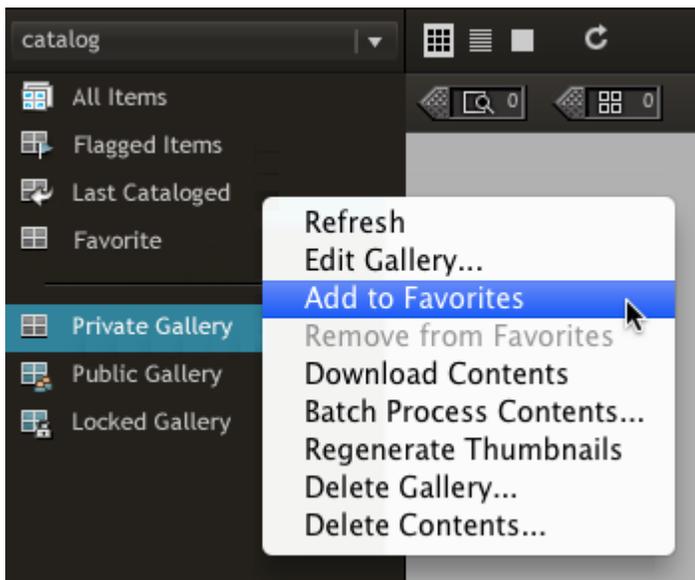
アイテムプロキシでのフラグ付け

複数のアイテムに素早くフラグを付けるには、プロキシをフラグアイテムギャラリーにドラッグします。現在の表示の全フラグアイテムにフラグを付けるには検出アイテムプロキシを、現在のページの全アイテムにフラグを付けるには表示アイテムプロキシを、選択中の全アイテムにフラグを付けるには選択アイテムプロキシをドラッグします。

アイテムプロキシについての詳細は、[アイテムプロキシを使う](#)（12 ページの）を参照してください。

お気に入り

お気に入りは、便利なオーガナイザです。あるオーガナイザをお気に入りにすると、**オーガナイザ**パネルの一番上の**お気に入り**リストに追加されます。



お気に入りとしてオーガナイザを追加するには、オーガナイザを選択し、右クリックしてショートカットメニューから**お気に入りに追加**を選択します。

お気に入りリスト内にオーガナイザをドラッグします。

お気に入りを削除するには、選択肢、**お気に入りに追加**から**お気に入りから削除**を選択します。

お気に入りリスト内のオーガナイザは、他のオーガナイザと同じように機能します。クリックすると、オーガナイザ内のアイテムをすべて表示します。オーガナイザを削除すると、お気に入りリストから削除されるだけでなく、カタログからも削除されます。

お気に入りリストは、カタログ内に保存されます。他のコンピュータから Portfolio ウェブクライアントを開いても、お気に入りは同じように表示されます。

ギャラリー

ギャラリーには、カタログ内のサブセットを表示できます。

ギャラリーは、カタログ内の特定のファイルのみを整理および表示するのに適した方法です。例えば、写真家が作品全体を含むカタログを作成した場合、カタログ内のあるギャラリーでは肖像写真のみを表示し、別のギャラリーには風景写真のみを含めることができます。

パブリック、プライベート、および閲覧専用の設定

ギャラリーはデフォルトでプライベート（非公開）に設定され、ギャラリーを作成したユーザーのみがアクセスおよび修正することができます。ギャラリーを作成するとき、パブリック（公開）に設定するとカタログの全ユーザーがアクセスできます。ギャラリーをパブリックに設定した場合、**閲覧専用**にすることで、他のユーザーが変更できないように制限をかけることもできます。

ギャラリーのアクセスレベルを変更する方法については、**ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定**（27 ページの）を参照してください。

スマートギャラリー

スマートギャラリーを開くと、Portfolio のカタログが自動的に検索され表示する適切なファイルが選択されます。スマートギャラリーを、そのカタログに保存済みのメタデータのファイルを検索して選択するように設定することができます。スマートギャラリーを作成して使用する詳細は、**スマートギャラリーの作成**（28 ページの）を参照してください。

ギャラリーの作成、名前変更、削除

カタログに新しいギャラリーを作成するには：

1. オーガナイザパネルの下の追加ボタン  をクリックして、メニューから**新規ギャラリー**を選択します。
2. ギャラリーの名前を入力します。
3. ギャラリーのプライバシー設定を選択します：
 - **パブリックギャラリーの場合、カタログのすべてのユーザーがそれを使用できます。閲覧専用はギャラリーの閲覧は可能ですが、変更はできません。**
 - **プライベートギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。**
4. **保存**をクリックします。

新しいギャラリーがオーガナイザパネルに表示されます。

ギャラリーの名前を変更するには：

オーガナイザパネル内のギャラリー名をダブルクリックして、新しい名前を入力します。

ギャラリーを削除するには：

1. オーガナイザパネル内のギャラリーを選択します。
2. オーガナイザパネルの下にある削除ボタン  をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

ギャラリーへのアイテムの追加

ユーザーがそのギャラリーに変更のための適切な権限とアクセスレベルをもっている場合、アイテムをそのギャラリーに追加できます。アクセスレベルの詳細については Portfolio の管理者にご確認ください。

注意：他の人が作成した閲覧専用ギャラリーにはアイテムを追加することはできません。

ギャラリーにアイテムを追加するには：

1. **オーガナイザ**パネルでギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。
3. メインウィンドウのアイテムサムネールを、**オーガナイザ**パネルのギャラリーアイコンにドラッグします。

また、アイテムプロキシをギャラリーにドラッグしてアイテムを追加することもできます。メインウィンドウの全ページの全アイテムを追加するには**検出アイテム**プロキシ  を、現在のページの全アイテムを追加するには**表示アイテム**プロキシ  を、現在のページの選択アイテムを追加するには**選択アイテム**プロキシ  をドラッグします。

ギャラリーからのアイテムの削除

アイテムがギャラリーから削除すると、現在のギャラリーから削除されるだけで、カタログからは削除されません。あるギャラリーを作成した際に、表示したくない画像が含まれていた場合は、ギャラリー内の不要な画像を単純に削除します。

カタログから削除せずに、ギャラリーからアイテムを削除するには：

1. **オーガナイザ**パネルからギャラリーを選択します（ギャラリー作成者でない場合は、閲覧専用のチェックが入っていないことを確認してください）。
2. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを1つ以上選択します。
連続したファイルを選択するには、最初のファイルを選択するには、**SHIFT** キーを押しながら最後のファイルをクリックします。
非連続のファイルを選択するには、**COMMAND** キー（Mac）または **CTRL** キー（Windows）を押しながら、各ファイルをクリックします。
3. メインウィンドウの左下の削除ボタン  をクリックします。
4. ギャラリーから削除したいがカタログには残したい場合、**ギャラリーから削除**をクリックしてギャラリーからアイテムを削除します。
ギャラリーやカタログ、またディスクからアイテムを削除するには**ディスクから削除**を選択します。

注意

スマートギャラリーからは、**ディスクから削除**しない限りアイテムは削除できません。これはスマートギャラリーが検索結果を表示するためです。カタログでそのアイテムのメタデータが変更されているために、スマートギャラリーを開くたび結果が違うこともあります。

ギャラリーの並べ替え

- ギャラリーのファイルを並べ替えするにはツールボックスのドロップダウンメニュー **並べ替え基準** から並べ替えに使用するフィールドを選択します。
デフォルトでは、ドロップダウンメニューで使用できるフィールドは次のフィールドの基本セットに限定されます。 **ディレクトリパス**, **ファイルサイズ**, **ファイル名**, **作成日**, **変更日**, **カタログ登録日**
- ドロップダウンメニューからフィールドのリストを展開するには **並べ替え基準** メニューから**すべて表示**を選択します。
- 元のフィールドセットに復帰するには**並べ替え基準** メニューの**フィルタ済みのフィールドを表示する**を選択します。（リストの最後の項目）

並び替えの順序は「**並べ替え基準**」メニューの右の **昇順**  or **降順**  アイコンをクリックすることで変更できます。

表示されるデフォルトフィールドを変更するには、**プロパティのフィルタフィールド** を調整します。詳細については**表示プロパティの選択** 30 ページの [を参照してください](#)。

ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定

多くの人が1つのカタログにアクセスする場合、ひとりのユーザーがアクセスするカタログにギャラリーを作成すると役立ちます。

Portfolio の「パブリック」および「プライベート」の設定機能を使用して、ギャラリーを保護して自分だけが見れるようにしたり、またはパブリックに選択しても閲覧専用を設定し、自分だけが変更するように設定できます。

ギャラリーのプライバシー設定を変更するには

1. **オーガナイザ** パネルで、ギャラリー名をダブルクリックします。
2. ギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - **パブリック** ギャラリーの場合、**カタログのすべてのメンバがそれを使用できます**。
 - **プライベート** ギャラリーの場合、**そのユーザーだけが使用できます**。
 - **閲覧専用** オプションでは、**他のユーザーが公開ギャラリーを変更することを制限します**。ユーザー本人はギャラリーの内容を変更できます。
3. **保存**をクリックします。

スマートギャラリーの作成

スマートギャラリーは検索ツール設定で保存できます。スマートギャラリーを開くと、検索が実行され、メインウィンドウに結果が表示されます。

カタログに新しく追加されたアイテムが検索結果にマッチする場合は、スマートギャラリーにも追加されます。

新しいスマートギャラリーを作成するには：

1. オーガナイザパネルの左下にある追加ボタン  をクリックし、メニューから新規スマートギャラリーを選択します。検索ツールが表示されます。
2. 検索パラメータを入力します。詳しくは、[検索ツールの使用](#)（19 ページの）を参照してください。
3. スマートギャラリーとして保存をクリックします。
4. テキストボックスにスマートギャラリーの名前を入力します。
5. スマートギャラリーのプライバシー設定を選択します：
 - パブリックスマートギャラリーの場合、カタログのすべてのユーザーがそれを使用できます。
 - プライベートスマートギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - 閲覧専用オプションでは、他のユーザーがパブリックスマートギャラリーを変更することを制限します。
6. 保存をクリックします。

新しいスマートギャラリーがオーガナイザパネルに表示されます。

フォルダ

Portfolio ウェブクライアント内のフォルダは、Portfolio Server のカタログに追加したディスク上のフォルダです。理想的には、これらのフォルダは常に Portfolio Server からアクセスが可能であるべきですが、場合によっては（マウントしたディスクなど）、一時的または断続的に接続されているケースもあります。

Portfolio には、オートシンクフォルダ（または監視フォルダ）と、サブフォルダの、2 種類のフォルダがあります。

オートシンクフォルダは 2 つの方法で作成できます。カタログ作成時に Portfolio 管理者が作成する、または Portfolio デスクトップクライアントを使って作成できます。

オートシンクフォルダは、Portfolio Server から内容の変化を「監視」され、カタログにこの変化が反映されます。

ウェブクライアントでは、オートシンクフォルダはこのアイコン  です。

サブフォルダはオートシンクフォルダ内のフォルダです（または他のサブフォルダ内のフォルダ）。

ウェブクライアントから、サブフォルダの作成や削除、オートシンクフォルダ間の移動が行えます。

サブフォルダはこのアイコン  です。

フォルダを使う

フォルダまたはフォルダ階層は 2 つの異なる理由で使われます。Portfolio を使わないでアセットを管理する場合と、Portfolio にアセットを追加する場合です。

この 2 つは両方合わせて利用することもできます。

ユーザーが、Portfolio Server やオートシンクフォルダへのネットワークアクセスができない場合にも、ファイルをカタログに追加することができます。またウェブクライアント内からはインターネットテクノロジーを使って、アセットをオートシンクフォルダに移動できます。この時点で Portfolio Server は新しいアセットを見つけて、カタログに追加します。

監視フォルダ内のサブフォルダを表示するには、オートシンクフォルダアイコンの隣にある  をクリックします。

フォルダにファイルを追加する

カタログのオートシンクフォルダやサブフォルダにファイルをコピーすると、すぐにカタログに追加できます。

フォルダにファイルを追加するには：

1. ファイルを追加したいフォルダを選択します。
2. ツールバーのアップロードボタンをクリックします。
3. アップロードするファイルを選択して、**開く** (Windows) または、**選択** (Mac) をクリックします。

オートシンクフォルダの同期

オートシンクフォルダは、スケジュールにあわせて、フォルダを監視して同期します。デフォルトではフォルダは連続的に監視され、変更があった場合は即座に同期されます。デスクトップクライアントでオートシンクフォルダを作成や編集をすることで、この設定を変更することはできません。

スケジュールを待たずにオートシンクフォルダを同期する必要がある場合は、フォルダを選択してからツールバーのをクリックします。

サブフォルダの作成

サブフォルダを作成するには：

1. オートシンクフォルダを選択する、またはサブフォルダを選択します。
2. オーガナイザパネルの下にある、ボタンをクリックします。
3. ポップアップメニューから、**新規サブフォルダ**を選択します。
4. サブフォルダの名前を入力して、**保存**をクリックします。

サブフォルダの削除

サブフォルダを削除するには、選択してから、オーガナイザパネルの下にある、ボタンをクリックします。

サブフォルダの移動

オートシンクフォルダの階層内にサブフォルダをドラッグするだけで、移動することができます。

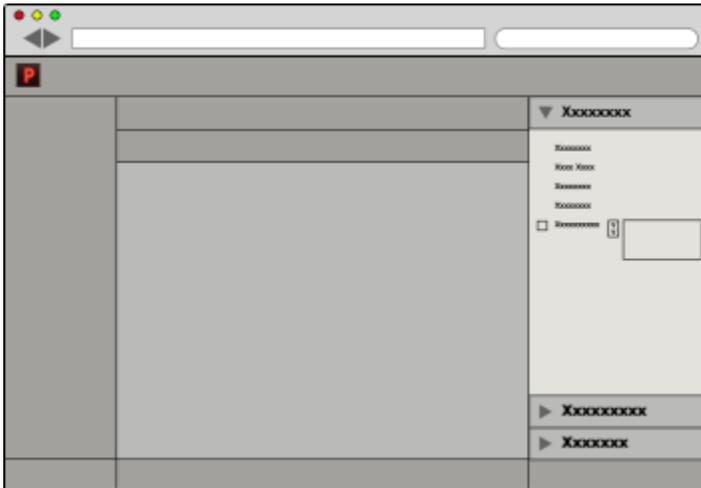
オーガナイザアイコン

 プライベートギャラリー	 プライベートスマートギャラリー
 パブリックギャラリー	 パブリックスマートギャラリー
 パブリック、閲覧専用ギャラリー	 パブリック、閲覧専用スマートギャラリー
 最新登録アイテム	 フラグアイテム

アイテムのプロパティの表示

Portfolio は、カタログ化するすべてのファイルに関する非常に詳細な情報を保存します。この情報には、カタログ作成中に収集するデータとして、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像寸法、ファイルタイプなどが含まれます。また、Portfolio アイテムには、追加可能なメタデータ情報（たとえば説明やキーワード）や、カスタムフィールドを使用して追加できるその他のデータも含まれます。

これらの情報は、ウェブクライアントの右側にあるプロパティ パネルで表示されます。



もし、プロパティ パネルが表示されていない場合、ウィンドウ右上に表示される  ボタンをクリックします。プロパティパネルを隠すには、 ボタンをクリックします。

キーワードやメタデータフィールドなどのデータ入力はプロパティパネルで行います。

表示プロパティの選択

アイテムプロパティ ペインは選択アイテムのすべてのプロパティを表示することが可能です。しかし、多くの場合、頻繁に使用するプロパティと、ほとんど使用することのないプロパティが存在します。

フィルタフィールドのリストを設定すると、何のプロパティを、どのような順番で表示するかを定義することができます。

アイテムプロパティペインで、フィルタのリストを設定するには:

1. もし開いていない場合、アイテムプロパティペインを開きます。
右上にあるアイコンをクリックしてください。（ログアウトの下の辺りにあります）
2. アイテムプロパティ ペインの上にある フィルタフィールドを編集 をクリックします。
3. 左側にあるすべてのフィールド のフィールド名を、右側の表示フィールドにドラッグします。
フィルタフィールドから、フィールド名を削除するにはリストの外側にドラッグします。
フィールド名を上下に移動すると、 フィルタフィールド に表示される順番を変更できます。
4. ボタンを押して、 フィルタフィールドのリストを保存します。

アイテムプロパティペインの上にあるドロップダウンメニューから、すべてのフィールドまたはフィルタフィールドの表示を切り替えることができます。

注意

アイテムプロパティで表示されるフィールド以外に、グリッド表示、リスト表示で表示されるフィールドを選択することもできます。

フィールドタイプの理解

Portfolio カタログ内のデータは複数のフィールドに記録されます。フィールドは保存できるデータ型によって複数のタイプに分けられます。Portfolio ウェブクライアントでは、アイテムのプロパティを追加したり編集したりするためにフィールドタイプをよく理解しておくことが必要です。

日付/時刻

日付/時刻フィールドタイプでは、アイテムの日付か時刻、またはその両方を入力できます。カタログの管理者は時刻の値を表示しないように選択できます。日付/時刻フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

注意

日付/時刻フィールドを検索する場合は、かならず時刻の存在が假定されます。つまり、もし（アイテムをカタログ化する際のソースファイルからの抽出により、またはフィールドに時刻を入力することにより）時刻の値がフィールドに入力されて、またカタログの管理者によってそのフィールドが隠されている場合にも、検索が行われる場合には Portfolio は時刻を検索に含めます。例: 「5/20/09」で検索しても「5/20/09 3:00 pm」を含むアイテムは見つかりません。なぜなら、検索の要求は「5/20/09 12:00:00」と解釈されるからです。

小数

小数フィールドタイプでは、最大で小数点以下第 8 位までの精度を持つ数値を入力できます。小数フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

数値

通常の数値については、数値フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

テキスト

「テキスト」フィールドタイプは 1 行のテキストのためにデザインされています。「テキスト」フィールドの長さは 1 から 249 文字までで、複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。このタイプのフィールドは複数行のテキストを含むことはできないため、その場合はテキストブロックを使用します。

テキストブロック

「テキストブロック」は 32,767 字以内の任意の長さの複数行にわたるフィールドです。このフィールドタイプを使えば、アイテムに複数行のテキストを追加できます。改行やキャリッジリターンを含めることもできます。「テキストブロック」内の単語はインデックス化されるので、これらの長いフィールドでも極めて速く検索することができます。「テキストブロック」フィールドは並べ替えやフレーズでの検索はできません。説明フィールドは「テキストブロック」フィールドの例です。例えば **説明** フィールドはテキストブロックフィールドです。

アイテムのプロパティの編集

Portfolio ウェブクライアントではカタログ内のアイテムのメタデータとプロパティを編集できます。

フィールド値を編集すると、Portfolio のカタログレコードが更新されます。また、埋め込みメタデータをサポートするファイルタイプでは、プロパティの変更はオリジナルファイルに埋め込まれます。組み込み可能なアイコンによって、メタデータの埋め込みをサポートするフィールドには埋め込み可能を示すアイコン  が指定されています。

Portfolio Server は XMP メタデータを含む様々な画像や動画ファイル形式のメタデータをサポートしています。詳細についてはファイル形式サポートリスト (<http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/>)を参照してください。

注意: Portfolio Server は XMP サイドカーファイルの読み込みまたは書き出しはできません。

1つのアイテムのプロパティを編集するには

1. メインウィンドウでアイテムを1つ選択します。
2. プロパティパネルで更新したい情報を見つけます。
フィールドはカテゴリごとにグループ化されています。カテゴリ内のプロパティを表示するにはカテゴリ名の左側にある三角形をクリックします。
3. フィールドの値を変更します。変更方法はフィールドのタイプにより異なります。
単一値フィールド (Photoshop ラベルなど) : 新しいテキストを入力して **ENTER** を押します。
テキストブロック (説明など) : テキストを編集し、フィールドの下にある送信 ボタンを押します。
複数値フィールド (キーワードなど) : フィールド下の **+** ボタンを押して、プロパティの値を追加 ダイアログを開きます。詳細については下記プロパティの値を追加 ダイアログを参照してください。

複数アイテムのプロパティを編集するには

1. メインウィンドウでアイテムを複数選択します。
2. プロパティパネルで更新したい情報を見つけます。
3. フィールドの値を変更します。変更方法はフィールドのタイプにより異なります。
単一値フィールド (Photoshop ラベルなど) : 新しいテキストをフィールドに入力します。
テキストブロック (説明など) : テキストを編集し、フィールド下の 追加 または 置換 ボタンを押します。
複数値フィールド (キーワードなど) : 値を追加 リンクボタンをクリックしてプロパティの値を追加 ダイアログを開きます。下記注意を参照してください。
フィールドを編集すると、情報が送信されていないことを表すチェックボックスが表示されます。
4. 別のフィールドの変更が必要であれば上記と同様の方法で変更します。
5. 変更処理が完了したら、プロパティパネルの下にある送信ボタンをクリックします。

プロパティの値を追加ダイアログ

キーワードなど複数値フィールドを編集する場合、プロパティの値を追加ダイアログを使用します。このダイアログは複数アイテムを入力または選択してアイテムに一括で追加できます。フィールドに定義された値 (マスターキーワードリスト) が存在する場合、ドロップダウンメニューから値を選択します。それ以外の場合、フィールドに直接入力します。



更新状況の確認

複数アイテムを一括編集する時、変更は Portfolio Server に「ジョブ」として送信されます。ジョブの状況を確認するには、メインツールバーの **ジョブを表示** をクリックします。

この他、メインウィンドウ下のナビゲーションバーにも更新状況が表示されます。

キーワードとカスタムフィールド

キーワード

キーワードカタログ化されたアイテムに割り当てることができる説明の単語またはフレーズで、アセットを管理したり分類したりするのに役立ちます。

例えば、トロピカルビーチの日没写真があったとすると、*砂、海岸、海、日没、トロピカル、休暇*などのキーワードをその画像に割り当てることができます。これらの単語は、画像を他の関連する画像とグループ化したり、ファイルを検索したりするのを容易にします。

Portfolio では、アイテムに割り当てることができるキーワードの数に制限はありません。

カタログ管理者はキーワードを統括して管理できるマスターキーワードリストを作成することができます。クライアントもこれにより何度もキーワードを入力する手間が省けます。

使用例

キーワードはファイルの内容を表すのに適しています（画像中の要素、写真が表現している感情や動き、ドキュメント内で述べられていることなど）。

カスタムフィールド

カスタムフィールドを使用すれば、カタログ化するアイテムに使用する任意の種類の情報（日付、数字、テキストブロック、または URL）を保存することができ、ファイルの整理、カテゴリ化、および検索をより柔軟に行うことができます。

カスタムフィールドには 6 つのタイプがあり、すべてのタイプが Portfolio ウェブクライアントの **プロパティ** パネルで編集できます。

- **日付/時刻**：日付または日付/時刻を入力します。たとえば、このフィールドタイプは、画像の発行日用のカスタムフィールドを作成するために使用できます。
- **小数**：小数を含む数値を入力します。このフィールドタイプは、フォトストックの販売価格など外貨価格のカスタムフィールドに役に立ちます。
- **数値**：普通の数値を入力します。このフィールドタイプはカタログのパーツ番号や、品番に最適です。ただし、それらの番号は数字のみに限ります。
- **テキスト**：1 行のテキストを入力します。写真家やアーティストの名前など、多くのカスタムフィールドで使用できます。
- **テキストブロック**：改行を含む、複数行のテキストを入力します。
- **URL**：このフィールドタイプは、ウェブや他の URL アドレスに使用します。ウェブクライアントのグリッド表示で URL フィールドが表示されていると、クリックして新規ブラウザウィンドウ（またはタブ）を開くことができるハイパーリンクになります。

カスタムフィールドは「キーワード」あるいは「説明」に該当しない項目を管理するために適しています。例えば、カタログに関連した特定のウェブサイトの URL フィールド、デジタル写真カタログの写真家フィールド、あるいは価格や型番情報などのフィールドを追加できます。

カスタムフィールドの詳細については、**アイテムのプロパティの編集**（31 ページの）を参照してください。

カスタムフィールドは、カタログ管理者が Portfolio デスクトップクライアントを使ってカタログに追加できます。

カスタムフィールドは、設定するのにいくつかの行程がありますが、キーワードより検索速度が向上します。カスタムフィールドはインデックス化されるため、Portfolio カタログから素早く情報を取り出すことができます。

使用例

カスタムフィールドは、画像解像度、ページ数などファイルのプロパティを表すのに適しています。ワークフロー内のファイルまたは文書をトラッキングするために使用するのも便利です。

キーワードの追加

キーワードは、ファイル内に埋め込まれたメタデータからの所得、Portfolio デスクトップクライアント でオートシンクフォルダを設定する際のカタログ作成オプション、または Portfolio ウェブクライアントでプロパティ パネルで手動でキーワードを入力した際に設定されます。

キーワードをアイテムに追加するには**プロパティの値を追加** ダイアログを使用します。このダイアログは複数の値を一括で入力できます。もし、カタログにマスターキーワードが設定されている場合、ドロップダウンメニューから選択できます。それ以外の場合は手動でフィールドに入力します。



キーワード追加の方法は、単一アイテムを選択したか複数アイテムを選択したかによって異なります。

キーワードを1つのアイテムに追加するには:

1. メインウィンドウで1つのアイテムを選択します。
2. プロパティパネルで **キーワード** フィールドを特定します。追加 ボタン[+] をクリックします。
プロパティの値 ダイアログが開きます。
3. **値を追加** フィールドに新しいキーワードを入力またはドロップダウンメニューから選択します。
4. [+] ボタンをクリックして、ボタンをクリックして、キーワードをリストに追加します。
5. 続けてキーワードを選択します。
もし、間違えてリストに追加してしまった場合、リストの下にある[-] ボタンをクリックします。
6. 値を入力したら **更新** ボタンをクリックします。

キーワードを複数のアイテムに追加するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティ パネルの**キーワード**にて**値を追加** リンクをクリックします。
プロパティの値を追加ダイアログを開きます。
3. キーワードを入力するか、ドロップダウンメニューから選択します。
4. [+]ボタンをクリックして、キーワードをリストに追加します。
5. 続けてキーワードを選択します。
もし、間違えてリストに追加してしまった場合、リストの下にある[-] ボタンをクリックします。
6. 値を入力したら**更新** ボタンをクリックします。
7. プロパティパネルで**送信**をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの削除

1つのアイテムからキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで1つアイテムを選択します。
2. プロパティパネルでキーワードフィールドを特定します。
3. リストからキーワードを選択してフィールドの下の[－]をクリックします。

複数のアイテムからキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティパネルでキーワードフィールドを特定します。
3. キーワードフィールドの下の**値を削除**リンクをクリックします。
プロパティの**値を削除**ダイアログが開きます。
4. 削除したいキーワードを入力します。
もし、管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
5. [+] ボタンをクリックして削除するリストに追加します。
6. 削除するキーワードが他にあれば上記操作を繰り返します。
もし、間違えて追加してしまった場合、リストから[－] ボタンを押します。
7. 値を入力したら**更新** ボタンをクリックします。
8. プロパティ パネルで**送信** ボタンをクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

複数のアイテムからすべてのキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティパネルのキーワードフィールドの下にある**値を削除**をクリックします。
3. **すべての値を削除** ボタンをクリックします。
4. プロパティパネルで**送信** をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの置換

キーワードを変更したい場合、Portfolio ウェブクライアントでは複数のアイテムを対象にそのキーワードを検索して新しいものと置き換えることができます。

たとえば、セダンやステーションワゴンなどを指定するのに一貫して自動車というキーワードを使用している場合、**値を置換**コマンドを使用して間違えて使用しているキーワードを置き換えることができます。

値を置換 は複数アイテムを更新する時に使用できます。

キーワードを置換するには:

1. メインウィンドウでアイテムを選択します。
2. プロパティのキーワード フィールドの下の**値を置換** リンクをクリックします。
プロパティの**値を置換** ダイアログが開きます。
3. **次の対象** テキストボックスに置き換えるキーワードを入力します。
管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
4. **次に置換** テキストボックスに新しいキーワードを入力します。
5. **更新** ボタンをクリックします。
6. プロパティ パネルの**送信** をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

ファイルの管理

Portfolio ウェブクライアントすると、ディスク上の特定のフォルダからファイルを別のフォルダに移動、ダウンロード、ファイル形式の変換などが可能です。

注意

この機能を利用するには一定のアクセスレベルが必要です。アクセスレベルは、Portfolio 管理者にお問い合わせください。

新しいサブフォルダの作成

Portfolio Server によって管理されているフォルダ内のファイルを整理するために、Portfolio ウェブクライアントで新しいサブフォルダを作成できます。これは、Windows のエクスプローラや Macintosh の Finder で新しいフォルダを作成するのと同じ要領で行います。

新しいサブフォルダを作成するには

1. オーガナイザ パネルで、一番上の階層のフォルダ  またはサブフォルダ  を選択します。
2. オーガナイザ パネル左下にある、追加 ボタン  をクリックし、新規サブフォルダを選択します。
3. フォルダ名を入力し、保存をクリックします。

オーガナイザパネル内のサブフォルダを移動するには、最上位フォルダが同じフォルダ内の別の場所にドラッグします。

注意: 最上位フォルダ (監視フォルダ) を追加するには Portfolio デスクトップクライアントを使用します。

ファイルの移動と削除

Portfolio ウェブクライアントからすべてのオリジナルファイルを移動および削除できます。

ファイルを移動するには：

1. オーガナイザパネルで、オーガナイザを選択します。
2. メインウィンドウでアイテムを1つまたは複数選択します。
3. 新しいフォルダに選択したファイルをドラッグします。移動先のフォルダは現在の場所と同じカタログ内にある必要があります。

ファイルを削除するには：

1. オーガナイザパネル内のフォルダを選択します。
2. メインウィンドウ内のサムネールを選択します。
一連のファイルを連続して選択するには、範囲の最初のファイルをクリックしてから、**SHIFT** キーを押しながら、最後のファイルをクリックします。
複数のファイルを個別に選択するには、**COMMAND** キー (Mac) または、**CTRL** キー (Windows) を押しながら、各ファイルをクリックします。
3. メインウィンドウの左下の、削除ボタン  をクリックします。
4. ディスクからオリジナルファイルを削除するにはディスクから削除をクリックします。または、カタログから削除をクリックして、カタログからアイテムを削除します。

カスタムプレビューの適用および削除

アイテムのプレビュー画像は変更することができます。例えば、PDF 文書のサムネールおよびプレビューは、最初のページが使用されますが、別の画像を利用することもできます。

別の画像をプレビューとして適用するには、カタログのアイテムを選択し、右クリックしてコンテキストメニューから **カスタムプレビューを適用** を選択します。次にサポートされる画像ファイルを選びます。

オリジナルのサムネールに戻すには、アイテムを選択し、右クリックしてコンテキストメニューからサムネールの再作成を選択します。

自動化とウェブクライアント

Portfolio ウェブクライアントにはワークフローをスピードアップするのに役立つ自動化機能が数多くあります:

- 自動的にファイルを見つけるには**スマートギャラリーの作成**を参照してください。
- ファイルをダウンロードする際の変換プリセットについては**ファイルのダウンロード**を参照してください。
- オリジナルを編集するプリセットについては**バッチ処理**を参照してください。
- 変換プリセットの作成および使用方法については**変換プリセット**を参照してください。

自動化コマンド

NetMediaMAX が組み込まれた Portfolio Server は高度な自動化スクリプトにアクセスできます。Portfolio Server 管理者はスクリプトを Portfolio ウェブクライアントで使用できるように設定できます。スクリプトで実行できることは様々あります。利用可能なスクリプトの詳細については Portfolio Server 管理者にお問い合わせください。

Portfolio ウェブクライアントでスクリプトを実行するには:

1. カタログ内のファイルを選択します。
2. ツールバーのドロップダウンメニューから**自動化**をクリックします。
3. リストからスクリプトを選択します。

スクリプトを実行すると、メインウィンドウの下に **ナビゲーション ツールバー**に処理状況が表示されます。スクリプトの処理結果の状況を確認するには**ジョブの表示ダイアログ**をご確認ください。

オリジナルのダウンロードと編集

Portfolio ウェブクライアントではファイルを別の形式に変換できるほか、カタログのファイルをダウンロードするために収集できます。Portfolio Server ではすべてのメディアの処理と ZIP ファイルの作成を行います。

ダウンロード メニューからは、オリジナルファイルのダウンロード、変換プリセットを実行してダウンロード、変換プリセットの作成などできます。

バッチ処理 コマンドからは、変換プリセットの作成、実行、変更、ファイルのリネーム、変換されたファイルのダウンロードとカタログ化などできます。

注意

アクセスレベルによってはオリジナルをダウンロードまたはバッチ処理を実行することができません。アクセスレベルの詳細については Portfolio 管理者にご確認ください。

ファイルのダウンロード

ダウンロード メニューからは、オリジナルファイルのダウンロード、変換プリセットを実行してダウンロード、変換プリセットの作成などできます。

変換プリセットが利用可能な場合、ダウンロード メニューの **オリジナルのダウンロード** に表示されます。

変換プリセットを実行するには、オーガナイザでアイテムを選択し、ダウンロード メニューでプリセットを選択します。

オリジナルファイルをダウンロードするには、オーガナイザでアイテムを選択し、ダウンロード メニューから **オリジナルをダウンロード** を選択します。

ダウンロードの準備が整うと今すぐに、または後でダウンロードするか選択できます

- 複数ファイルをダウンロードまたは変換することを選択すると、.ZIP アーカイブとして圧縮します。
- もし、単独のファイルを選択した場合、Portfolio は圧縮しないでダウンロードをします。

今すぐにダウンロードする場合、OK ボタンを押して、保存する場所と名前を指定します。

キャンセルボタンを押すと、ファイルまたは .ZIP アーカイブは後でダウンロードできます。

変換プリセット

変換プリセットは、ファイル形式、解像度の設定で、頻繁に使用するものをセットとして保存することを可能にします。例えば、Web ページに掲載するために 320x240 ピクセルの JPG ファイルを作成する作業を頻繁に行っているとします。この場合、値をプリセットに保存することで、ファイルの変換とダウンロードを 1 クリックで実現できます。

変換プリセットは、ファイルを 1 クリックでダウンロードあるいは、リネームやカタログに追加することが可能なバッチ処理を実行する際に使用できます。

プリセットを作成するには 2 つの方法があります: ダウンロードメニューから **変換プリセットの編集** を選択するか、メインツールバーの **バッチ処理** をクリックします。

注意: バッチ処理 ダイアログでは、すべてのプリセットオプションは **変換** セクション内にあります。

新規プリセットを作成するには:

1. 変換設定の変更 (下記参照)
2. プリセットドロップダウンメニューの横にある **[+]** ボタンをクリックします。
3. プリセットの名前を入力し **保存** ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして **変換プリセット** ダイアログを閉じるか、**キャンセル** をクリックして **バッチ処理** ダイアログを閉じます。

新しいプリセットは **ダウンロード** メニューおよび **バッチ処理** ダイアログで利用できるようになります。

変換設定

- フォーマットドロップダウンメニューから変換するファイル形式を選択します。
フォーマットを変更すると、選択できるオプションも変更されます。例えば、TIFF 形式の場合、圧縮方式、バイト順が選択できません。JPEG の場合、画質パラメータのみが変更できます。
NetMediaMAX Solution Pack にはいくつかの追加変換フォーマットが利用できます。
- 変換ファイルのカラーモードに RGB, CMYK, または グレースケールを選択します。
- 解像度を変更にチェックを入れると、変換ファイルの解像度を設定できます。
- サイズを変更にチェックを入れると変換ファイルのサイズを変更できます。
%: %値は、オリジナル画像を基にしたサイズです。100% はオリジナルサイズです。出力ファイルは寸法および縦横比はオリジナルと同じです。

最大寸法: 変換ファイルの縦横サイズを変更して、フィットさせます。オリジナルファイルの縦横比が出力の縦横比より小さい場合、変換ファイルは、短い側に合わせてサイズを変更してから、長い側のサイズに合わせます。出力結果は、オリジナルの縦横比を維持するため、指定値と同じか小さくなります。画像の一部が失われることはありません。

拡大/切り取り: 変換ファイルの縦横サイズを入力してリサイズします。出力ファイルは指定したサイズと同じになります。もし、オリジナルの縦横比が異なり大きい場合、幅は維持されますが、上下がカットされます。もし、オリジナルの縦横比が異なり大きい場合、高さは維持されますが、左右がカットされます。

サイズ変更の例

異なる 3 つの画像が最大寸法 および 拡大/切り取り オプションを使用してどのようにリサイズされるかを表します。すべての画像は 1280x720 サイズに変更されます。

オリジナル	最大寸法 1280x720	拡大/切り取り 1280x720
 <p>320x240</p>	 <p>1080x720</p>	 <p>1280x720</p>
 <p>1920x817</p>	 <p>1280x545</p>	 <p>1280x720</p>
 <p>1307x1961</p>	 <p>480x720</p>	 <p>1280x720</p>

プリセットの変更と削除

プリセットを変更するには:

1. ダウンロードメニューから **変換プリセットの編集** を選択するか、**バッチ処理** をクリックします。
2. プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択します。
3. 設定を変更します。
4. **更新** ボタンをクリックします。
5. **OK (プリセットの編集)** または **キャンセル (バッチ処理)** をクリックしてダイアログを閉じます。

プリセットを削除するには:

1. ダウンロードメニューから **変換プリセットの編集** を選択するか、**バッチ処理** をクリックします。
2. プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択します。
3. **[-]** ボタンをクリックします。
4. **OK (プリセットの編集)** または **キャンセル (バッチ処理)** をクリックしてダイアログを閉じます。

バッチ処理

バッチ処理コマンドは複数ファイルの変換を実行し、変換結果をダウンロードまたはカタログに登録、あるいはオリジナルの置換ができます。

複数のファイルを処理するには、**オーガナイザ** パネルのギャラリー、フォルダ、または選択アイテムを選択し、メインツールバーの **バッチ処理** を実行します。 **バッチ処理** ダイアログが表示されます。

注意: バッチ処理は常に選択対象に対して実行されます。ダイアログには選択対象のアイテムが表示されます。

バッチ処理 (ギャラリー「Catalog.fdb」内の全アイテム)

変換

プリセット: カスタム設定 [+] [-] 更新

フォーマット: JPEG

画質: 高 75

カラーモード: RGB

解像度を変更: 72 ドット/ インチ

サイズを変更

%: 100 %

最大寸法: [] W [] H [ピクセル]

拡大/切り取り: [] W [] H [ピクセル]

名前を変更

オリジナルのファイル名を使用

保存先

新しいファイルをダウンロード

オリジナルのファイルと同じフォルダ内に新規ファイルを作成し、同じファイル名の場合は変更

新しい画像をカタログに追加

新規ファイルでオリジナルのファイルを置き換え

キャンセル バッチ処理

バッチ処理 ダイアログ変換、名前を変更、保存先の3つの主要部分に分かれています。

変換 および 名前を変更 セクションはオプションであり、修正したい場合にのみ指定します。一方保存先 セクションは指定しないとバッチ処理を実行できません。

バッチ処理コマンドで指定した後 **バッチ処理** ボタンをクリックして編集を続行します。進行状況はメインウィンドウの下部のナビゲーションツールバーに表示されます。進行状況についての詳細は、ツールバーの**ジョブを表示**ボタンをクリックしてください。

変換設定

オリジナルから別の形式にファイルを変換するには **変換**と記載されたボックスにチェックを入れ、変換設定を選択します。

変換プリセットをドロップダウンメニューの**プリセット** から選択するか、カスタム設定を適用します。

設定の変更および 独自プリセットの作成については **変換プリセット** 39 ページの を参照してください。

名前の変更オプション

名前の変更で、新しい名前を入力します。

ファイル名は、前、中、後の3つのセクションに分けられます。ドロップダウンメニューから各オプションを選択します。ここで選択できるオプションはなし、ファイル名、テキスト、および 連番です。

- なし - 名前は新しい名前を追加するのに使用しません。
- ファイル名 - オリジナルのファイル名を、新しい名前に含める場合に使用します。
- テキスト - 新しいテキスト（最大 31 文字）を追加するために使用します。
- 連番 - ファイル名に数字を追加するために使用します。
特定のケタ数にしたい場合は、0 を先頭に入れて入力します。

例: [なし], [テキスト: Portfolio-], [連番: 001] に設定するとファイル名は **Portfolio-001.jpg**, **Portfolio-002.jpg**, と変更されていきます。

変換先オプション

変換先は、ファイルが変換および名前の変更などがされた後、保存される場所です。

- **新しいファイルをダウンロード**: ファイルはご使用のコンピュータにダウンロードされます。（または後でダウンロードします）
- **オリジナルのファイルと同じフォルダ内に新規ファイルを作成し、同じファイル名の場合は変更**: 変換および名前の変更されたファイルはオリジナルと同じ場所に保存されます。もし、既存ファイルの名前と同じになる場合、自動的に修正されます。
新しいアイテムをカタログに登録し、オリジナルも残したい場合 **新しい画像をカタログに追加** にチェックを入れます。新しいアイテムをカタログに登録する場合は
- **新規ファイルでオリジナルのファイルを置き換え**: オリジナルファイルはディスクから削除され、新しいファイルが同じ場所に保存されます。カタログファイルも新しいファイルに関連付けられます。

PDFコンタクトシート

Portfolio コンタクトシートは、複数の画像をまとめて表示することができます。Portfolio コンタクトシートはページ内に表示する画像の数やヘッダー/フッターの情報、フィールドを選択できます。

コンタクトシートを作成するには、**オーガナイザ** パネル、またはメインウィンドウからアイテムを選択し、**PDF 作成** メニューでプリセットを選びます。

Portfolio Server は PDF を生成し、すぐにダウンロードするか、後で**ジョブ** パネルからダウンロードすることができます。

印刷フィールド

コンタクトシートに含まれるフィールドは、現在の表示されているフィールドと同じです。

もし、 **グリッド表示**でコンタクトシートを作成した場合、グリッド表示で 사용되는フィールドがコンタクトシートに含まれます。

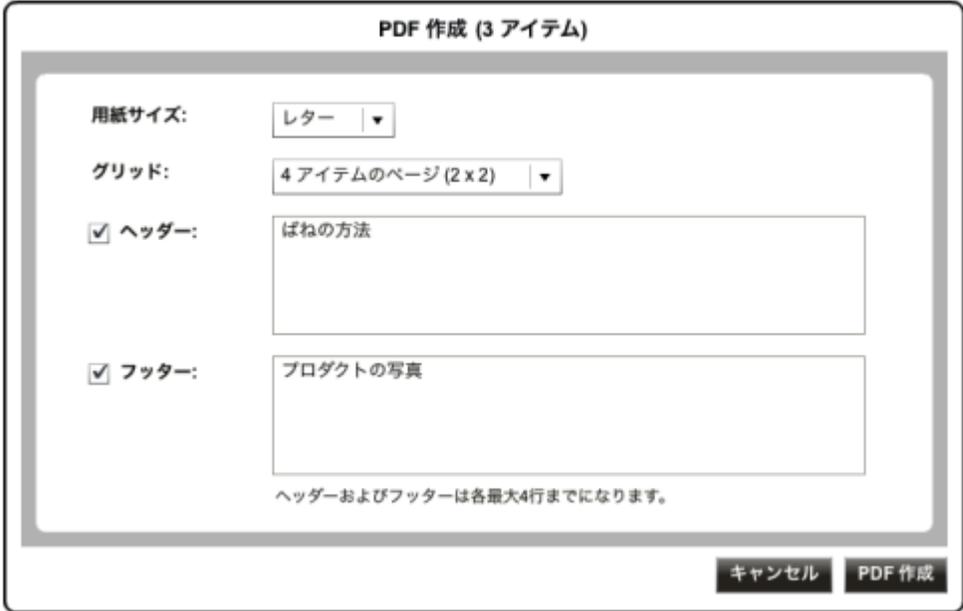
 **リスト表示**に切り替えた場合、リスト表示で 사용되는フィールドがコンタクトシートに含まれます。

現在の表示を変更するには**クイック検索** ツールの下の **フィールドを表示** をクリックします。詳細については **フィールド選択** 13 ページのを参照してください。

注意: コンタクトシートに画像と関連付けして表示できるテキストのスペースは限られています。このため、現在の表示と同じ内容がすべて表示されない場合があります。

コンタクトシートの設定

PDF プリセットの設定を変更するには、**PDF 作成** メニューから **PDF のカスタマイズ** を選択します。これで PDF 作成ダイアログが表示されます。



PDF 作成 (3 アイテム)

用紙サイズ: レター ▼

グリッド: 4 アイテムのページ (2 x 2) ▼

ヘッダー: ばねの方法

フッター: プロダクトの写真

ヘッダーおよびフッターは各最大4行までになります。

キャンセル PDF 作成

必要に応じて **用紙サイズ**、**グリッド** (ページのアイテム数)、**ヘッダー**、および **フッター** オプションを変更して、PDF を作成します。ページのアイテム数以外の設定は、次回から各 PDF プリセットで使用されます。変更するには再度 **PDF のカスタマイズ** を使用します。

ジョブ

ジョブダイアログには、**アップロード**、**ダウンロード**、**バッチ処理**、**自動化コマンド**を含む、ユーザーアカウントによるすべてのサーバータスクの状況を表示します。

メインツールバーの**ジョブを表示**をクリックすると、ジョブダイアログが表示されます (**ジョブを表示**をクリックすると、ジョブダイアログに最近実行したコマンドのリストが表示されます)。

サーバーがコマンドを処理すると、新しい項目がジョブダイアログに追加されます。この項目にはタイムスタンプやジョブの状況が含まれています。

ジョブが完了したら、**ダウンロード** ボタンをクリックして処理されたファイルをダウンロードすることが可能です。

処理されたジョブは消去しなければ、ジョブダイアログに 24 時間表示されます。

注意

もし、ジョブの中で処理ができないアイテムがあった場合、ジョブ完了時にジョブダイアログには「# / # アイテムは処理できませんでした。」と表示されます。問題の詳細については項目をクリックしてください。また、この情報を Portfolio Server 管理者にご連絡ください。

用語集

-A-

ALT キー

Windows キーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張することができます。

API

アプリケーションプログラミングインターフェイス (Application Programming Interface)。Portfolio Server は開発者向けに API を提供しています。Portfolio カタログへのアクセスのカスタマイズ開発が可能です。

AppleScript

Mac OS X で利用できるスクリプト言語。アプリケーション間のデータ移動や自動化を実行できます。Portfolio デスクトップクライアントでは、Mac OS X の AppleScript®を使った自動化が可能です。Visual Basic の項目も参照してください。

-D-

DBA ツール

データベース管理ツール (Database Administrator Tool)。Portfolio カタログが使う SQL データベースに、アクセスと管理機能を提供する Windows 用のツール。

DNG

Digital Negative ファイル。Adobe が開発したファイルフォーマット。XMP メタデータ、プレビュー画像、その他の情報を含む RAW 画像。

DSN

Data Source Name。データソースへの接続を記述した情報。Portfolio Server は SQL データベース内のカタログを特定するために DSN を利用します。

-E-

EPS

Encapsulated PostScript。PostScript コマンドで書かれた画像や図形などを表す自己完結型の画像ファイル。他の PostScript ドキュメント内に配置することができます。

EXIF

Exchangeable Image File format。デジタルカメラにより利用される画像、音声、メタデータ用の標準フォーマット。EXIF データには画像を撮影したデバイスの情報 (モデル名やシリアル番号等) も一般的に含まれます。Portfolio では、EXIF タグを読み込んだり、書き出したファイルに埋め込むことができます。

-F-

FDB

Portfolio Server が利用する、カタログ/データベースのネイティブファイルフォーマット。カタログファイルの拡張子も FDB です。

-G-

GPS

全地球測位システム（Global Positioning System）。GPS ユニットを備えたカメラや測位システムでは、画像内に GPS メタデータを埋め込むことができます。Portfolio ではこのメタデータを読み込むことができます。

-I-

IPTC

International Press Telecommunications Council。デジタルファイルのメタデータ追加に関する世界最初の標準システム。IPTC メタデータは、XMP が使われる前の多くのシステムやデバイスでサポートされています。Portfolio は埋め込まれた IPTC メタデータを読み込むことができます。

IP アドレス

インターネットプロトコルアドレス（Internet Protocol address）。ネットワーク上のコンピュータや他のデバイスを特定するための数字によるアドレスシステム。IP アドレスは通常、192.168.0.10 のように、ピリオドで分割された 4 つの 0~255 の間の値で構成されています。IP アドレスは変更されない静的に割り当てられる場合（ネットワーク上のプリンタや他のデバイスなど）と、同じデバイスでもそのたびにダイナミックに異なるアドレスが割り当てられる場合（ネットワークから切り離されるノートコンピュータなど）があります。

-J-

JPEG/JPG

(1) Joint Photographic Experts Group が開発した標準圧縮形式。JPEG はロッキー圧縮で、より高い圧縮のためにデータの一部が失われます。(2) ビットマップファイルフォーマット。一般的に写真によく使われます。

-L-

LDAP

ライトウェイトディレクトリアクセスプロトコル（Lightweight Directory Access Protocol）。ネットワークユーザーディレクトリの参照と編集を行う手段。

-M-

MediaScript（メディアスクリプト）

Portfolio Server で 1 つまたは複数のカタログで実行させるコマンド集。スクリプトはいつでも任意に選択したアイテムに対して実行することができます。

-N-

NetMediaMAX

Portfolio Server の追加オプションで、追加のメディアエンジンライセンスとフォーマット変換の拡張、スクリプトが含まれています。

NetPublish

Portfolio Server の追加オプションで、カタログやギャラリーのコンテンツをウェブサイトに公開することができます。

-O-

ODBC

Open Database Connectivity。このソフトウェアはオペレーティングシステムとデータベース間を仲介し、アプリケーションからデータベースへのアクセスを容易にします。Portfolio Server Enterprise 版は、ODBC を使って Microsoft SQL Server、Oracle、MySQL データベースに接続します。

Office ドキュメント

Microsoft Office アプリケーション（Excel®、Word、PowerPoint®）で作成された表、文章、プレゼンテーションドキュメントのフォーマットの総称。Portfolio では、Office ドキュメントをカタログに登録してメタデータを抽出することが可能です。

-P-

PDF

ポータブルドキュメントフォーマット（Portable Document Format）。このファイルフォーマットは例えば印刷用の電子入稿時に利用されます。PDF ファイルは PostScript をベースにしており、フォントの埋め込みや、様々なレベルのプロテクションを含めることができます。

Portfolio Express

Mac OS X と Windows 用のデスクトップアプリケーションで、Portfolio カタログとアセットに接続できます。Portfolio Express はとても軽いシステムのため、バックグラウンドで起動しておき必要な時にホットキーで呼び出すことができます。カタログ内の検索、サムネール表示、他のアプリケーションへ画像をドロップ、オリジナルファイルの場所の表示などが行えます。

-Q-

QuickTime

Apple が提供するマルチメディアアプリケーション。多くのビデオやオーディオフォーマットの再生や変換が可能です。Portfolio Server は QuickTime を使い、いくつかのメディアトランスコーディングに使用しています。

-S-

SQL

Structured Query Language。エスキューエルと読みます。SQL はデータベース操作のための最も一般的なプログラミング言語です。

SQL Connect

Portfolio Server Enterprise 版のコンポーネントで、カタログ用に Portfolio の内部データベースではなく、SQL データベースが利用できるようになります。

SSL

Secure Sockets Layer。インターネット上の通信安全を提供する暗号プロトコル。SSL はメッセージの信頼性のために鍵のついたメッセージ認証コードを使用します。

-T-

TIFF

タグ付けされた画像ファイルフォーマット (Tagged Image File Format)。高品質画像でよく利用されるグラフィックファイルフォーマット。TIFF ファイルはビットマップグラフィック、ベクターパス、複数レイヤー、複数ページを含めることができます。

-U-

URL

Uniform (または Universal) Resource Locator。ファイルやウェブページなどのインターネットリソースを参照するテキストストリング。Portfolio カタログアイテムは URL フィールドを持つことができるため、Portfolio ウェブクライアントのグリッド表示で、アセットに関連するウェブリソースのクリック可能なリンクが表示できます。

-V-

Visual Basic

Microsoft Windows で利用されるプログラミング言語と開発環境。Visual Basic® (省略 VB) を使うと Windows 上の Portfolio デスクトップクライアントで自動化が可能です。AppleScript の項目も参照してください。

-X-

XMP

拡張可能なメタデータプラットフォーム。XMP はフィールドを多く持っており、必要に応じてカスタムメタデータを含めることができます。

-Z-

ZIP

(adj.) データ圧縮とアーカイブに利用されるファイルフォーマット。(v.) ひとつまたは複数のファイルを ZIP 形式ファイルに圧縮すること。Portfolio はダウンロードファイルを ZIP 形式で提供します。圧縮の項目も参照してください。

-ア-

アイテム

Portfolio カタログに登録されたもの。メタデータを含む画像、ビデオ、ドキュメント、または他のファイルアセットを示すもの。

アイテムプロキシアイコン

対応していないアイテムに対する代理。Portfolio ウェブクライアントでは、いくつかのアイテムプロキシアイコンがあります。プロキシアイコンはアイコンで表示され、見えていないと難しいアイテムのグループ化などを可能にします。プロキシアイコンは、アイテム検索 (選択されている現在の検索またはオーガナイザの検索結果の全アイテム)、アイテム表示 (メインウィンドウの現在のページで表示されている全アイテム)、アイテム選択 (現在のページで選択されているアイテム) に利用できます。

アクセスレベル

ユーザーが特定のカタログで利用できる機能を決定する階層ランク。ユーザーはメンバーになっているカタログごとにアクセスレベルを設定することができます。

アクティブディレクトリ

Windows ネットワークで提供されるディレクトリサービス。AD と省略されることがあります。

アシスタント

複雑な作業を単純なステップで提供するユーティリティ。Portfolio デスクトップクライアントには、NetPublish アシスタントやウェブページ作成アシスタントが搭載されています。

アセット

組織にとって価値がある、もしくは価値を生み出す、写真、画像、書類、オーディオ、ビデオ等のファイル

アップロード

ローカルコンピュータから、リモートコンピュータやサーバーにファイルを移動すること。ダウンロードの項目も参照してください。

-ウ-

ウェブアプリケーション

ウェブブラウザ内で起動し、複数のプラットフォームで簡単に利用できる強力なアプリケーション。ウェブアプリケーションはインターネット上にある必要はありません。

ウェブサーバー

(1) ワールドワイドウェブ上にコンテンツを配信するため、またはローカルイントラネット上にウェブスタイルのコンテンツを配信するためのソフトウェア。Microsoft の Internet Information Services (IIS) や Apache HTTP Server (Apache) など。(2) ウェブコンテンツ配信専用のハードウェアシステム。

-オ-

オーガナイザ

Portfolio ウェブクライアント内で、利用されるカタログアイテムのグループ。オーガナイザには、カタログやフォルダなど実際のグループを表すものと、ギャラリーのようにバーチャルなグループを表すものがあります。

オートシンク

自動的にファイルをカタログに登録したり、カタログ内のアイテムを最新の状態に保つためのシステム。オリジナルが見つからない場合に、カタログからアイテムを削除する設定にすることもできます。監視フォルダ内のアイテムとカタログが同期している状態にできます。

オートシンクフォルダ

Portfolio Server カタログに追加したいファイルをユーザーが置く、ネットワーク上のフォルダ。Portfolio は指定された間隔でオートシンクフォルダをチェックし、新しく追加されたファイルや変更されたファイルが見つかったら、ファイルをスキャンして、メタデータの抽出とアップデート、パスの更新、サムネールとプレビューファイルの再作成を実行します。監視フォルダの項目も参照してください。

オープンディレクトリ

OS X サーバー上で動くディレクトリサービス。「Apple オープンディレクトリ」と呼ばれることもあります。

オフライン

ユーザーからアクセスできない Portfolio カタログ（例えばバックアップ中など）。オンラインの項目も参照してください。

オリジナル

カタログアイテム用の元ファイル。オリジナルファイルはカタログ内には保存されません。

オンライン

ユーザーからアクセス可能な Portfolio カタログ。オフラインの項目も参照してください。

-カ-

カスタムフィールド

Portfolio カタログ内でユーザーが設定したフィールド。ファイル用のあまり一般的ではない情報に利用します。典型的な使われ方としては、顧客コードや注文番号など、特定のワークフローやビジネスモデルで発生する情報などを格納するために使われます。

カタログ

(n) デジタルアセットを集めたもの。(v) カタログにデジタルアセットを追加する行為。Portfolio では、画像、グラフィック、デジタル写真、ドキュメント、その他のファイルをカタログと呼ぶデータベースファイルで管理します。カタログには、ファイルのサムネイル画像と、埋め込まれたメタデータ、必要なカスタム情報、ディスク上のオリジナルファイルの場所を示す情報が保存されています。カタログ内にはオリジナルファイル自体は含まれません。アセット、ファイル、メタデータ、サムネイルの項目も参照してください。

カタログオプションプリセット

Portfolio デスクトップクライアントを使ってアイテムをカタログに登録する際に、適用する複数のアクションを設定して保存したものの。

カタログ管理者

カタログ内のアセットをどう扱えるかを定められるアクセスレベル。カタログ管理者は、そのカタログに関するすべての設定権限を持ちます。

カテゴリ

Portfolio デスクトップクライアント内で設定できるバーチャルグループ。カテゴリを使うと、カタログ内のアセットを階層的に整理することができます。

カメラ RAW (Camera Raw)

デバイスのモデルやシリーズごとに用意されたファイルフォーマット。最低限に処理されたデータが含まれています。RAW ファイルは、デバイスのセンサーが直接捉えた情報をできる限り保持し、画像が撮影された状況をメタデータとして内蔵しています。

-キ-

キーワード

アイテムに付けられる、そのアイテムを表現する言葉。似たようなアイテムを探したり、検索を容易にします。アイテムに付けたキーワードは、カタログ内のアイテムのフィールド内に保存されます。マスターキーワードリストの項目も参照してください。

-ギ-

ギャラリー

カタログ内のアイテムの特定のセット。ギャラリー内には実際のアイテムが含まれるわけではなく、アイテムを表示するリストのみです。そのためギャラリーへアイテムを追加したり削除したりしても、カタログそのものは変更されません。

-ク-

クイック検索

特定のフィールド内のテキストを素早く検索するためのツール。クイック検索の設定は、Portfolio Server 内の quickfind.xml ファイルを編集することで変更することができます。

クエリー

(n.) データベースからの情報リクエスト。(v.) データベースから情報をリクエストすること。

クライアントアプリケーション

非サーバーシステム（コンピュータ、タブレット、スマートフォン）で動き、サーバーに接続して機能するソフトウェア。Portfolio にはデスクトップクライアントアプリケーションと、ブラウザベースのウェブクライアントが用意されています。

クリップ

オーディオファイルやビデオの一部。Portfolio Server はカタログに登録したオーディオファイルやビデオメディアからクリップを作成します。サーバー管理者はカタログが作成される際にクリップの仕様を設定することができます。

クロップ

特定の縦横サイズに画像を切り抜くこと。オリジナル画像内の要素が削られます。

-コ-

コマンド（Command、⌘ キー

Macintosh キーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張することができます。特に、Command-P で印刷、Command-C でコピーなど、多くのキーと組み合わせることで一般的なメニューアイテムを開けることがよく知られています。

コンタクトシート

(1) Portfolio ウェブクライアント：カタログ内の画像やドキュメントの小さな画像と、各アイテムの情報が含まれた PDF ファイル。
(2) Portfolio デスクトップクライアント：ギャラリーの内容を表す、同じようなサイズで表現された小さい画像。アナログ写真時代に、写真印画紙の上に直接一連のネガフィルムを置いてコンタクトシート、コンタクトプリント、またはプルーフシートと呼ばれるものを作成していました。ネガから印画紙に露光し、その後印画紙を処理します。ネガが印画紙と直接接触しているため、画像はネガフィルムと同じサイズで焼き付けられます。最終的な画像のセレクトや、最終プリントのアイデアを練るために利用されていました。

コントロール/Ctrl キー

コンピュータキーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張することができます。

-サ-

サーバー

(1) ファイルやサービスを、ユーザーやファイルサーバー、プリントサーバーなどの他のコンピュータシステムに提供するために用意される専用のコンピュータシステム。(2) サービスをユーザーや他のコンピュータに提供するソフトウェアパッケージ。Portfolio Server など。

サーバー管理

ブラウザベースのアプリケーションで、Portfolio Server カタログやユーザーの作成や削除、カタログメンバーシップの設定などが行えます。

サーバー管理者

サーバー管理アプリケーションを使ってカタログとユーザーを管理する責任者。

サイドカー

メタデータの埋め込みが許可されていないファイル形式用に、メタデータのみを持った別のファイル。一般的にサイドカーにはオリジナルファイルと同じファイル名に、その性質を示す拡張子が付きます（XMP サイドカーファイルには.XMP）。オートバイのサイドカーのように、サイドカーファイルはオリジナルファイルと一緒に移動します。

サブフォルダ

階層直下のフォルダ。フォルダ内のフォルダ。上位フォルダの項目も参照してください。

サムネイル

オリジナルファイルと比較して、サイズや解像度を下げたカタログ表示用のアイテム。

サムネイルの再作成

Portfolio Server がオリジナルファイルからサムネイルを再作成します。アイテムのサムネイルの再作成はオリジナルファイルから行います。カタログ上のサムネイルや、オリジナルファイルが変更された場合に利用します。

-ジ-

ジョブ

ユーザーによる指示で Portfolio Server が行うタスク。ジョブにはアップロード、ダウンロード、バッチ処理、自動処理も含まれます。

-ス-

スマートギャラリー

一定の条件に合うアイテムを表示するギャラリー。スマートギャラリー内のコンテンツは、条件が変更されると変わります。また新しく条件に合うアイテムがカタログに追加されたり変更されると、スマートギャラリーの内容が変わります。

-ダ-

ダウンロード

リモートコンピュータやサーバーから、ローカルコンピュータにデータを移動すること。アップロードの項目も参照してください。

-デ-

ディレクトリ

(1) ネットワークデータリソース。組織内の人、部署、チーム、プリンタ、その他の類似のリソースのエントリ用。(2) ファイルが含まれるディスク管理の一般的な用語。通常はフォルダとして見えています。

ディレクトリサービス

ディレクトリにアクセスする方法を格納して、整理、供給するソフトウェア。Windows のサーバーでは、アクティブディレクトリが最も一般的なディレクトリサービスです。OS X servers では、オープンディレクトリが一般的です。両方とも LDAP で実行されます。

ディレクトリサービスマッピング

ディレクトリサービスのグループ/ユーザーアカウントと、Portfolio ユーザーアカウント間を関連づけること。

データベース

様々な方法でアクセスが可能な、体系化されたデータセット。Portfolio カタログは、デジタルアセットを簡単に識別するためにデザインされた、特定のフィールドを持つデータベースです。

-テ-

テンプレート

新しいものを作成する際に、よく使うデザイン、パターン、スタイル等を共有するために、あらかじめある程度のデザインやレイアウトがされたもの。NetPublish では、カタログコンテンツの配信方法が保存された様々なウェブサイトの種類をテンプレートとして提供しています。Portfolio デスクトップクライアントでは、カタログレイアウト（フィールド、メタデータマッピング、マスターキーワードリスト等）を新規カタログタイプまたはテンプレートとして保存できます。

-ド-

ドキュメント（文書）

個人やグループの考えをまとめたコンピュータファイル。一般的には主にテキストからなるファイルを指して使われますが、写真や画像、ビデオ、オーディオファイルを指すこともあります（「ドキュメント」という用語自体は古い歴史があるため、デジタルコンテンツを指す場合にも様々な考え方があります）。

ドメインユーザーアカウント

ネットワークベースの Windows のユーザーアカウント。このアカウントはログインするとすぐにネットワークリソースを利用することができます。ローカルシステムアカウントの項目も参照してください。

ドラッグ&ドロップ

コンピュータマウスを使って、コンテンツを移動（ドラッグ）して、新しい場所で放す（ドロップ）操作。ドラッグ&ドロップはコンテンツによってデータの移動やコピーが行えます。

-ト-

トランスコード

ビデオやオーディオファイルを他のフォーマットに変換すること。

-パ-

パス

ディスク上のファイルやフォルダの位置を示すテキスト。

-バ-

バッチ処理

一連のプロセスやジョブを手動で行わずに実行すること。Portfolio はカタログアイテムを変換してダウンロード用に用意する作業をバッチ処理します。

バッチ変換

1つの操作で、複数アイテムの変換を行うこと。Portfolio ウェブクライアントに搭載されているバッチ変換機能は、ファイル形式、解像度、カラーモード、サイズを変換することができます。

パブリックギャラリー

カタログの全メンバーが見ることができるギャラリー。プライベートギャラリーの項目も参照してください。

パレット

他のウィンドウ上にフローティングウィンドウとして表示され、特定の機能やツールにすばやくアクセスできるウィンドウ。Portfolio デスクトップクライアントでは、カテゴリ、マスターキーワード、カタログオプションプリセット、カスタムフィールドへのデータ入力などのパレットが用意されています。

-ビ-

ビット深度

1 ピクセル内のカラー表現に使われているビット数。8 ビット画像は、1 ピクセルにつき 1 バイトが使われており、256 色の表現が可能です。24 ビット画像は、1 ピクセルごとに 3 バイトが使われ、それぞれレッド、グリーン、ブルーに割り当てられると、1600 万色が表現されます。

-フ-

ファイアウォール

コンピュータシステムやネットワーク内のアクセスをコントロールするソフトウェア。ファイアウォールは一般的に、ファイアウォールの外側にあるシステムやネットワークから、ファイアウォールの内部リソースへのアクセスブロックに使われます。

ファイル

オブジェクトコードのまとまったもの。コンピュータディスク内に、ひとつの名前で保存されているデータ。

フィールド

データベースに記録された一部。フィールドには一般的にアイテムに関連したデータ（例えば数字、日付、テキストなど）を持ちます。

フィルター

他のアプリケーションやプロセスで利用するためにデータを処理するソフトウェアの一部。Portfolio ウェブクライアントではプロパティパネルに表示する、検索や並べ替えに利用するフィールドリストをフィルターします。必要なフィールドだけを表示させることができます。

フィルターされたフィールド

Portfolio ウェブクライアント内のプロパティパネルに表示するカタログフィールドのサブセット。フィルターされたフィールドは、検索内選択や情報表示にも利用できます。Portfolio ウェブクライアントの各ユーザーは、各自の目的にあったフィールドを選択することができます。

フォルダ

ディスク上のファイルやフォルダをまとめておくための入れ物。

フォルダ階層

フォルダ内のフォルダなど、フォルダの配置。通常システムのファイル管理を指します。

-プ-

プライベートギャラリー

作成した人だけが見ることができるギャラリー。他のカタログメンバーは見ることができません。パブリックギャラリーの項目も参照してください。

フラグ

(v.) アイテムに注意マークを付けること。(n.) アイテムに付けた注意マークのこと。

フラグアイテム

Portfolio ウェブクライアントに付いている整理機能。カタログ内のフラグが付いたアイテムだけを表示します。

プリセット

同じ変換作業を繰り返し実行する場合に、素早く行えるよう変換設定を保存したものを。Portfolio ウェブクライアントでは、ファイル変換とダウンロード用にプリセットを作成して使うことができます。

プレビュー

(v.) 変更や印刷を行う前に画像やドキュメントを表示すること。(n.) オリジナルファイルを視覚的に認識するために、解像度を下げたりサイズを小さくした画像や、ドキュメントページの画像、ビデオフレームなど。

プロパティ

グラフィックのピクセル情報、PDF のページ数、写真家のコピーライトなど、アイテムに適用されたメタデータや情報。Portfolio ウェブクライアントから多くのアイテムプロパティを表示したり、適用したり、編集することができます。

-ペ-

ページ

カタログ内や検索結果のアイテムのサブセット。Portfolio ウェブクライアントでは、メインウィンドウにカタログアイテムの一定数が表示されます。もし検索結果がメインウィンドウに表示できる数を超えるアイテムを持つ場合は、アイテムは複数のページに表示されます。

-ポ-

ポート

入ってくるデータを受け取るアプリケーションを決定するサーバーでのアドレスとして使われる数字。Portfolio Server はコンポーネント間のコミュニケーションに複数のポートを使用します。

ポストスクリプト (PostScript)

Adobe が開発したページ記述言語。デバイスに依存しない、ページ内のレイアウトやテキスト、グラフィックを記述する方法。PostScript は Adobe Illustrator や PDF ドキュメントのベースになっています。

-ボ-

ボリューム

ディスクパーティション。ボリュームはユーザーからはディスクアイコンで見えますが、実際には複数のボリュームに分割されたひとつのディスクの場合もあります（ボリュームとディスクはしばしば混在して利用されています）。Portfolio では、アイテムのオリジナルファイルが保存されているボリューム名を記録しています。

-マ-

マスターキーワードリスト

カタログ管理者が定めたキーワードの一覧。キーワードを付ける際に、入力していく代わりに、ユーザーはあらかじめ用意されたマスターキーワードリストから選択することができます。カタログ全体のキーワードの一貫性を保つことができます。キーワードの項目も参照してください。

マッピング

あるデータセットを、別のセットに関連づけること。Portfolio にファイルを読み込む際に、特定のメタデータ情報をどのフィールドに取り込むのかを設定できます。どのメタデータがどのフィールドに格納されるかは、メタデータマッピングによって決定されます。

マルチスレッド

複数のコードが別々のプロセッサやコア上で同時に実行できるように書かれたコンピュータコード。マルチスレッドは、プログラムがより速く効率的に処理されます。Portfolio Server はマルチスレッド処理を実行するので、複数のプロセッサやシステム (NetMediaMAX 使用時) で、1つの重いタスクを分割することができます。

-メ-

メタデータ

データについてのデータ。メタデータは、著作者名や文字数、場所、写真の撮影者、キーワードなどファイルの内容をあらわす情報。メタデータは分類やデータの識別、アセットの置き場所などを決める際に重要なツールになります。

メディア

(1) オーディオやビデオファイルなどのように、一般的には時間軸のあるファイル。(2) 独立した形をした、データが実際に格納されるコンピュータ記憶装置。例えば DVD ディスクなど。

メディアエンジン

Portfolio Server が多くの種類のファイル処理を依頼するハードウェア、ソフトウェアの組合せ。変換作業を速く行うために Portfolio Server は内部にメディアエンジンを持っています。また、大規模な処理を実行する場合は、1つまたは複数の他のシステム上で動くメディアエンジンで処理を分散させることもできます。

メンバー

カタログへのアクセスを許可された Portfolio アカウントユーザー。

-ユ-

ユーザー

Portfolio Server にアカウントを持ち、アセットやカタログにアクセスできる人。

ユーザーアカウント

Portfolio システム内に保存されている、ログイン証明書 (ユーザー名とパスワード) とユーザーに関連した情報

-ル-

ルート (root)

(1) ディレクトリ構造の一番上。(2) システムの全権限を持つユーザー。

ルート証明書

ルート証明機関を特定するサインがない公開鍵証明書または自己署名された証明書。

-ロ-

ローカルシステムアカウント

単独システムで利用するユーザーのための Windows アカウント。このアカウントはネットワークリソースへのアクセスが自動的に適用されません。ドメインユーザーアカウントの項目も参照してください。

-ワ-

ワークフォルダ

(1) ワールドワイドウェブ上にコンテンツを配信するため、またはローカルイントラネット上にウェブスタイルのコンテンツを配信するためのソフトウェア。Microsoft の Internet Information Services (IIS)や Apache HTTP Server (Apache) など。(2) ウェブコンテンツ配信専用のハードウェアシステム。

ワークフロー

制作工程の初めから終わりまでのステップ、またはプロセス。

-一-

一時ギャラリー

特定の作業やワークフロー用にアイテムを分類するのに利用できる、一時的なギャラリー。一時ギャラリーは通常のギャラリーとしても保存できます。

-上-

上位フォルダ

指定されたフォルダやファイルが含まれているフォルダ。

-仮-

仮レコード

Portfolio カタログ内で、まだ追加されていないファイル用に確保されたアイテム。

-公-

公開されたカタログ

オンラインでユーザーから利用できる状態のカタログ。

-共-

共有

ネットワークユーザーからアクセス可能なファイルが含まれたもの（フォルダやボリューム）。通常はボリュームとして表示されます。

-同-

同期

Portfolio カタログに登録済みのファイルが変更された際に、その変更を反映させる処理。例えば、Adobe Bridge を使って、すでにカタログに追加されている InDesign ファイルにキーワードを追加した場合、カタログを同期して、新しいキーワードがカタログアイテムに追加されるようにします。

-名-

名前空間

一組の名前のためのコンテナ。コンテナ内の名前は重複しませんが、他の名前空間内にある場合もあります。同じ名前の他の名前空間と区別するために、名前空間の名称には、通常名前空間識別子も含まれます。Portfolio Server 内の名前空間には、例えば IPTC のような様々なメタデータによって使われています。

-圧-

圧縮

ファイルサイズを減らしたり、転送時間を短くする目的で、使用されるビット総数を減らすためにファイルなどのデジタル情報をコード化する方法。多くの画像、ビデオ、オーディオフォーマットでは圧縮を利用しています。ZIP の項目も参照してください。

-埋-

埋め込み

他のファイルの中にオブジェクトを含めること。例えばフォントや画像などの構成要素を含む、自己完結型ドキュメントなどで利用します。ファイルにメタデータを追加する場合にも埋め込むと言います。

-変-

変換

ファイルフォーマットを他のフォーマットに変更すること。

-抽-

抽出

個別に認識が可能です。Portfolio では、ファイルからメタデータを抽出して、アイテムが登録されたカタログのフィールドにそれぞれのメタデータを取り込むことができます。

-拡-

拡張子

ファイル名の最後に付く、ピリオドで始まる文字列。ファイル形式を表します。例えば.DOC（Microsoft Word ドキュメント）、.JPG（JPEG 圧縮形式）、.INDD（Adobe InDesign ドキュメント）など。

拡張性

増大する仕事量にあわせて、または成長にあわせて拡張できるシステム。

-画-

画面プレビュー

ファイルがカタログに登録される際に、Portfolio が自動的に作成する低解像度画像。ファイルサイズが小さくなるため、オリジナルファイルを開くより素早く内容を確認することができます。

-発-

発行者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。発行者はギャラリーの作成、カタログのヘアアイテムの追加や削除が行えます。

-監-

監視フォルダ

同期フォルダ。オートシンクフォルダ。Portfolio デスクトップクライアントで監視フォルダを設定できますが、ウェブクライアントからも使うことができます。

-管-

管理者

コンピュータハードウェアやソフトウェアシステムの設定を行うことができる人。アドミニストレータ。サーバー管理者、カタログ管理者の項目も参照してください。

-編-

編集者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。編集者はアイテムのメタデータを編集することができますが、カタログへの追加や削除はできません。

-自-

自動化

システムが途中の操作無く一連の仕事を実行すること。Portfolio ウェブクライアントでは、スマートギャラリーを使ったファイルの自動検索、変換プリセットを使ったファイル変換とダウンロードの自動化、NetMediaMAX を使った自動化スクリプトの実行などが可能です。

-解-

解像度

(1) 画像やデバイスの縦横のピクセル数。例：HDTV の解像度は 1920×1080 ピクセルです。(2) 画像やデバイスの画素密度（一般的には dpi (dot per inch)、または ppi (pixel per inch))。例：レーザープリンタは 600 dpi の解像度を持っています。

-認-

認証機関

証明書に署名した名前が公開鍵を所有していることを保証するデジタル証明書をを交付する団体（例えば VeriSign）。Portfolio Server とウェブクライアントの間で暗号化されたコミュニケーションを許可するために、Portfolio Server でカスタムメイドの証明書を使うことができます。SSL の項目も参照してください。

-読-

読み出しのみ

(1) パブリックギャラリーは、作成した人以外のユーザーは編集することができません。(2) 閲覧のみのアクセス権限のユーザーは、アイテムを見ることはできますが変更や置き換えはできません。ディスク上の場所（読み出しのみになっているかもしれないファイルやフォルダ、ディスク全体）や、データベース内の記録やフィールドを参照することはできます。

-透-

透かし（ウォーターマーク）

(n) オリジナル画像上に適用される目に見える画像やパターン。透かしは、著作権や所有者が誰かということを明示します。また画像の無許可の使用を阻止します。(v) オリジナル画像に透かし画像を適用すること。Portfolio はダウンロードした画像に透かし画像を追加することもできます。

-閲-

閲覧者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。閲覧者は、カタログ内のアイテムを見ることしかできない権限です。

連絡先

Extensis

1800 SW First Avenue, Suite 500
Portland, OR 97201
電話（無料）：(800) 796-9798
電話: (503) 274-2020
Fax: (503) 274-0530
Web: <http://www.extensis.com>

Extensis ヨーロッパ

Suite 18, Newton House
Kings Park Road, Moulton Park
Northampton NN3 6LG, United Kingdom
電話: +44 (0)1604 654 270
Fax: +44 (0)1604 654 268
Email: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

Web: <http://www.extensis.com/customerservice/>
パッケージ内の案内をご覧ください。

もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定（オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど）
- ご質問、または問題の説明（何がどういつきに起こったのかを具体的に）
- 電話番号（担当者からお客様への電話を希望される場合）

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。

よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスから Extensis の Web サイトをご利用ください。
<http://www.extensis.com/>

電話によるサポート

北米では、(503) 274-7030 にご連絡ください。

ヨーロッパでは、+44 (0) 1604-654-270 にご連絡ください。

日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。

索引

C

custom field, 34

E

Extensis のお問い合わせ先, 60

F

file formats, 6

G

gallery, 25

N

new, 6

P

PDF, 42

PDF 作成, 42

Portfolio ウェブクライアントのインストール, 8

Z

ZIP, 39

あ

アーカイブ, 39

アイテムのアップロード, 15

アイテムのプレビュー, 14

アイテムのプロパティ, 30, 31

アイテムのプロパティの編集, 31

アイテムの削除, 15

アイテムプロキシ, 24

アクセスレベル, 16

う

ウェブクライアントインターフェイス, 9

お

オリジナル

削除, 15

オリジナルファイルの変換, 41

オリジナルを編集, 41

か

カスタマーサービス, 60

カタログ, 42

アイテムのアップロード, 15

カタログへのアイテムの追加, 15

き

キーワード, 34

削除, 36

置換, 36

追加, 35

ギャラリー

アイコン, 25

アイテムの削除, 15, 27

アイテムの追加, 26

スマート, 25, 28

パブリック, 25

パブリックに設定, 27

プライベート, 25

プライベートに設定, 27

作成, 26

削除, 26

新規, 26

並べ替え, 27

名前変更, 26

ギャラリーへのアイテムの追加, 26

く

クイック検索, 18

結果のクリア, 22

クエリー, 18

クイック検索, 18

検索ツール, 19

こ

コンタクトシート, 42

さ

サブフォルダ, 37

し

システム要件, 8

ジョブダイアログ, 43

ジョブの表示, 43

スクリプト出力, 38

ジョブを表示

オリジナル出力の編集, 41

す

スクリプト, 38

スクリプト実行, 38

スマートギャラリー, 28

せ

セールス, 60

た

ダウンロード, 39

ジョブの表示, 43

は

はじめに, 8

バッチ処理, 41

ふ

ファイルのカタログ化, 15

ファイルの移動, 37

ファイルの追加, 15

ファイル変換, 39

フィールドタイプ, 31

フォルダ

新規作成, 37

フラグ, 24

フラグアイテム, 24

プロキシ, 24

プロパティ, 30

ま

マニュアルへのご意見, 60

め

メインウィンドウ, 11
 アイテムのプレビュー, 14

メタデータ, 30

ゆ

ユーザーインターフェイス, 9

り

リネーム, 39

漢字

閲覧者, 16

閲覧専用, 27

管理者, 16

企業セールス, 60

検索, 18

 クイック検索, 18

 検索ツール, 19

 検索ツール条件, 20

検索ツール, 19

 スマートギャラリー, 28

 結果のクリア, 22

 検索条件, 20

検索結果のクリア, 22

削除

 キーワード, 36

 ギャラリーからのアイテム, 27

 ファイル, 15, 37

書き出し, 42

置換

 キーワード, 36

追加

 キーワード, 35

発行者, 16

表示オプション, 11

並べ替え, 27

編集者, 16

名前, 39

要件, 8